

志摩市創生総合戦略に記載した【具体的な施策】

平成28年度 実績報告

志摩市

志摩市創生総合戦略に記載した【具体的な施策】一覧

施策	具体的な施策	ページ
1-1	中学生と高校生の地方創生参画推進事業	1 ~ 2
1-2	介護予防ボランティアでポイント事業	3 ~ 4
1-3	がんばる市民を応援する事業	5 ~ 6
1-4	地域とのつながりによる県立高校の魅力向上事業	7 ~ 8
1-5	二十歳からの健康貯蓄事業	9 ~ 10
1-6	心豊かな暮らしを育む人材育成事業	11 ~ 12
2-1	若者の希望を叶える志摩づくり事業	13 ~ 14
2-2	若い女性が暮らしやすい志摩づくり事業	15 ~ 16
2-3	移住しやすい志摩づくり事業	17 ~ 18
2-4	水産業の担い手受け入れ推進事業	19 ~ 20
2-5	IJU(移住)ターン促進のための奨学金返済補助事業	21 ~ 22
2-6	若者の集いと出会いの支援事業	23 ~ 24
2-7	家主と移住者のためのリノベーションによる空き家活用等事業	25 ~ 26
2-8	若者世代の移住促進事業	27 ~ 28
2-9	農業の担い手受け入れ推進事業	29 ~ 30
3-1	志摩市ホームページの魅力向上事業	31 ~ 32
3-2	きらり志摩びと紹介番組放送事業	33 ~ 34
3-3	志摩びと結ぶ志摩市広報事業	35 ~ 36
3-4	地域の資源を活用するためのプラットフォーム創出事業	37 ~ 38
3-5	農産物の生産実態把握事業	39 ~ 40
4-1	ふるさと応援寄附推進事業	41 ~ 42
4-2	生産物の販路拡大による農林水産業活性化事業	43 ~ 44
4-3	農業生産者の強化と育成事業	45 ~ 46
4-4	新たな漁業者を受け入れる漁港整備事業	47 ~ 48
4-5	外国人観光客誘致推進事業	49 ~ 50
4-6	地域をめぐる観光消費拡大事業	51 ~ 52
4-7	未利用資源を活用した漁業振興事業	53 ~ 54
4-8	中小企業者等のための商談会等出店支援事業	55 ~ 56
5-1	地域の仕事カケモチ型就業推進事業	57 ~ 58
5-2	志摩市を元気にする創業及び事業拡大支援事業	59 ~ 60
5-3	鵜方駅周辺の賑わい復活事業	61 ~ 62
5-4	志摩市におけるガイド業の創出事業	63 ~ 64
5-5	高齢者と障がい者とその家族等のための観光サービス創出事業	65 ~ 66
5-6	6次産業化推進事業	67 ~ 68
6-1	伊勢志摩国立公園の魅力向上事業	69 ~ 70
6-2	賢島の魅力発信力向上事業	71 ~ 72
6-3	地域の特色を生かしたスポーツのまちづくり事業	73 ~ 74
6-4	地域の魅力を見つけて生かす観光まちづくり事業	75 ~ 76
6-5	生活拠点づくり事業	77 ~ 78
6-6	これからの志摩市の地域交通検討事業	79 ~ 80
6-7	子どもの医療費がかからないまちづくり事業	81 ~ 82
6-8	市民や民間事業者による地域をおこすまちづくり支援事業	83 ~ 84

政策分野	ひとの育成		担当課	総合政策課
施策No.	1 - 1	事業名	中学生と高校生の地方創生参画推進事業	

目的	志摩市在住の中学生及び高校生を対象に、志摩市の現状や地方創生の必要性を伝えるとともに、彼らの意向を把握して、地域に戻る、地域に誇りを持つ次世代の育成を推進する。
----	--

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・全ての中学校で地方創生に関する説明会	-	毎年1回以上開催	1回
KPI算出根拠	市内中学校で実施した地方創生に関する説明会(授業)の回数 (平成28年度) 1回 平成28年11月16日、磯部中学校にて中学2年生を対象に説明会を実施		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・地域に誇りを持つ生徒の割合と将来は地域に暮らしていたいという生徒の割合	誇りを感じる 75.3% 暮らしていたい 51.2%	誇りを感じる 80%以上 暮らしていたい 70%以上	誇りを感じる 79.3% 暮らしていたい 51.7%
KPI算出根拠	高校生アンケート結果に基づき算出 (平成28年度) (誇りを感じる + どちらかという誇りを感じる) ÷ 合計アンケート数 × 100 = 誇りを感じる生徒の割合 (148 + 136) ÷ 358 × 100(%) = 79.3(%) (暮らしていたい + どちらかという暮らしていたい) ÷ 合計アンケート数 × 100 = 暮らしていたい生徒の割合 (59 + 126) ÷ 358 × 100(%) = 51.7(%)		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

中学生を対象とした地方創生に関する説明会の実施

- ・平成28年11月16日、磯部中学校と協力し中学2年生に対して、地方創生や市の施策について説明会を開催。
- ・説明会と同時にアンケートを実施(回答者数:56)

「志摩市(磯部町)が好きですか」という問いに対し、91%が「好き」又は「どちらかという好き」と回答。

「志摩市(磯部町)が元気だと感じますか」という問いに対し、50%が「感じる」又は「どちらかという感じる」と回答。

「将来、志摩市(磯部町)に住み続けたいと考えていますか」という問いに対し、42%が「住み続けたい」又は「どちらかという住み続けたい」と回答。

「志摩市の人口の推移や推計について理解できましたか」という問いに対し、「よく理解できた」が34%、「まあまあ理解できた」が66%、「理解できなかった」が0%と回答。

「志摩市の未来に希望があると感じることができましたか」という問いに対し、30%が「感じた」又は「どちらかという感じた」と回答。

高校生アンケートの結果

- ・伊勢志摩にある高校にアンケート調査を実施。

・平成27年度と比較し、調査対象高校数が3校(宇治山田高校、宇治山田商業高校、皇学館高校)増加。

・実施校は水産高校、志摩高校、伊勢高校、宇治山田高校、宇治山田商業高校、伊勢工業高校、皇学館高校。

・平成27年度と平成28年度のアンケート結果を比較。

高校卒業後に「就職」と「進学」のどちらを希望するかという問いに対し、進学を希望する生徒の割合が昨年度の45.8%から67.3%に増加し、就職を希望する生徒の割合が45.8%から28.8%に減少。男女ともに進学を希望する生徒の割合が増加。

将来も志摩市に暮らしていきたいと思うかという問いに対し、「暮らしていきたい」「暮らしてたくない」と回答した割合に大きな変化はない。(「暮らしていきたい」H27:51.3% H28:51.7% 「暮らしてたくない」H27:47.0% H28:47.5%)

「暮らしていきたい」と回答した生徒に対し「まち」を要因として、なぜ「暮らしていきたい」と考えているか聞いたところ、「このまちが好きだから、まちが住みやすいから 自然が豊か、海・やま・空気がきれいだから 人が優しいから、人が温かいから」の順であった。

「暮らしていきたい」と回答した生徒に対し「自分自身」の理由により、なぜ「暮らしていきたい」と考えているのか聞いたところ「家族が住んでいるから、家族が好きだから 家の仕事を継いでいるから、就きたい仕事があるから 地元の人が好きだから貢献したい、地元が大事だから」の順であった。

「暮らしてたくない」と回答した生徒に対し「まち」を要因として、なぜ「暮らしてたくない」と考えているか聞いたところ「田舎だから、不便だから、まちが嫌いだから 交通機関が不便だから 仕事が少ないから、働く場所が無いから」の順であった。

「暮らしてたくない」と回答した生徒に対し「自分自身」の理由により、なぜ「暮らしてたくない」と考えているのか聞いたところ「就きたい仕事が無い(少ない)から、就職先が県外だと思うから 家族が引っ越していると思うから、家族が不便と言うから 楽しいところが少ないから、店が少ないから」の順であった。

志摩市に愛着や誇りを感じるかどうかという問いに対し、志摩市に愛着や誇りを「感じる」と回答した生徒の割合が昨年度の36.5%から41.3%に微増した。特に女子生徒の愛着や誇りを「感じる」という意見が大きく増えた(33.7% 45.9%)。

政策分野	ひとの育成		担当課	介護・総合相談支援課
施策No.	1 - 2	事業名	介護予防ボランティアでポイント事業	

目的	世代を超えた交流や地域とのつながりもてる活動を地域支援事業に加えることで、自ら介護予防をしながら健康寿命を延ばす高齢者だけでなく、介護に関して広く関心をもつ市民を育成する。
----	--

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
434	284	150	0	280	183	97	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・地域支援ボランティアとして活動する人の数	0人	毎年500人以上	232人
KPI算出根拠	事業の実施にあたり、介護予防ボランティア(お達者サポーターなど)や地域ふれあいサロン運営者、病院ボランティアなど既に活動している人数をもとにして目標値を設定。本事業については、平成28年度からボランティア登録者及び受入れ施設等の募集を行い、平成29年1月から活動に対するポイント付与を開始。 [平成28年度]平成29年3月末のボランティア手帳(しまこさん手帳)の交付者は232名。 現状値については制度施行前のため、300人を0人に訂正		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・ボランティア活動に参加した年間の通算人数	0人	年間3,000人以上	-
KPI算出根拠	ボランティア登録者の活動期間は毎年1月から12月までとなり、活動期間にかかる交付金の請求は原則翌年1月以降に行うことから、登録者の延べ活動日数については活動期間終了後に把握することになる。 [平成28年度]上記理由により実績なし 現状値については制度施行前のため、1,590人を0人に訂正		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

介護予防ボランティアポイント事業

1. 事業について

志摩市内における高齢者の支援活動を通じて、ご自身の健康増進と介護予防を図り、いきいきと暮らすことのできる安心な地域社会づくりを推進することを目的としている。20歳以上の方であれば、誰でも参加できるが、ポイント還元の対象となるのは、市内在住の65歳以上の方と介護予防に資する支援活動に関わる方に限る。

2. 介護予防ボランティアポイント事業利用の流れ

ボランティア登録

まず、志摩市介護予防ボランティアポイント事業活動員登録申請書に必要事項を記入し、志摩市役所 介護・総合相談支援課へ提出、活動員の登録をする。

オリエンテーション(事業説明会)の受講

次に活動員として登録された方を対象としたオリエンテーション(事業説明及び活動にかかる諸注意等の説明)を開催。受講の際に、「活動ガイド」と「しまこさん手帳」を配付。

活動保険への加入

万一のケガや事故に備えて「ボランティア活動保険」に加入。保険の加入受付は、志摩市役所 介護・総合相談支援課にて行う。保険金の年間最低掛金は350円。

活動先の紹介 実施

志摩市役所より、希望に沿った活動先を紹介。条件が合えば活動を行う。

活動先にしまこさん手帳を提示し、活動終了後にポイントとなるスタンプを押印。

30分程度の活動で1スタンプ、1日4スタンプが限度。

しまこさん手帳を紛失した場合、それまでのポイントは無効。

3. ポイントの活用

集めたスタンプはポイントとなり、転換交付金(志摩市商品券)として受け取ることができる。

転換ポイントの年間上限は、100ポイントで5,000円。

4. 平成28年度末の状況

介護予防ボランティアポイント事業活動員登録者数・・・232名(平成29年3月31日現在)

介護予防ボランティアポイント事業活動員受入施設・事業所登録数・・・62施設(平成29年3月31日現在)

5. 事業の様子



ボランティアの活動の様子



しまこさん手帳とスタンプ



スタンプの押印の様子

政策分野	ひとの育成		担当課	総合政策課
施策No.	1 - 3	事業名	がんばる市民を応援する事業	

目的	意欲的に技術や能力を高めようという市民を支援して、市民のパフォーマンスを向上させるとともに、そうした人材のネットワークを構築する。
----	---

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・助成事業による年間の資格取得者数	-	50人以上	-
KPI算出根拠	志摩市資格取得支援事業補助金交付要綱に基づき資格を取得した者の人数 (平成28年度) 要綱整備のため、実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・奨励事業による指定資格の取得者数	-	目標の80%以上	-
KPI算出根拠	志摩市資格取得奨励金交付要綱に基づき資格を取得した者の人数 (平成28年度) 要綱整備のため、実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・資格取得者のネットワーク	構築されていない	構築されている	-
KPI算出根拠	志摩市資格取得支援事業補助金交付要綱及び志摩市資格取得奨励金交付要綱に基づく資格取得者のネットワークの構築 (平成28年度) 要綱整備のため、実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

志摩市資格取得支援事業補助金交付要綱の制定

助成事業の対象となる資格の検討を実施。

その結果、厚生労働省が指定する一般教育訓練講座を補助対象資格に決定し、要綱を制定した。

志摩市資格取得奨励金交付要綱の制定

奨励事業の対象となる資格の検討を実施。

平成28年7月にグループウェアにて全庁に提案募集を実施。(4資格の提案有り)

平成28年8月に志摩市観光協会・志摩市商工会・志摩市社会福祉協議会・志摩市シルバー人材センターに

提案する資格がないかヒアリングを実施し、調査依頼。(15資格の提案有り)

最終的に下記の9つの資格を交付対象資格に決定し、要綱を制定した。

1. 通訳案内士
2. 唎酒士
3. 野菜ソムリエ
4. 観光コーディネーター
5. 観光士
6. 販売士(1級)
7. 観光プランナー
8. 観光特産士(1級)
9. 日本さかな検定(1級・上級)

政策分野	ひとの育成		担当課	総合政策課
施策No.	1 - 4	事業名	地域とのつながりによる県立高校の魅力向上事業	

目的

地域と市内の高校(志摩高校及び水産高校)のつながりを強化して、地域を知る機会と地域で活躍する機会を在校生に提供するとともに、地域が高校について知る機会も創出することで、地域の高校の魅力を向上させ、卒業しても地域のために何かをしたいと想ってくれる若者を育てる。

予算・決算

単位:千円

H28 予算額	財源内訳			H28 決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・地域と高校で魅力向上のための対策が検討されている	検討されていない	検討されている	検討されている

KPI算出根拠	県立高校の魅力向上に関する打合せ (平成28年度) 打合せ実施回数 計5回		
---------	---	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・両校の生徒が活躍する機会	-	年10回以上	7回

KPI算出根拠	志摩高校・水産高校の生徒が日頃の活動状況等を紹介・披露する機会の提供回数 (平成28年度) 6/12 9/22 11/3 11/18 12/18 12/22 2/19 の計7回		
---------	--	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・インターンとして生徒を受け入れてくれる事業者の数	-	延べ20者以上	19者

KPI算出根拠	両校生徒をインターンとして受け入れてくれる事業者数 (平成28年度) 19者(志摩高 10者 20人 水産高校 9者 98人)		
---------	---	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

平成28年6月12日 志摩高校の美術部により、阿児ライブラリーで、作品展示としおり作り体験を行った。

平成28年9月22日 水産高校の生徒が、イオン阿児店で、カツオの解体を生徒が説明し、普段実習で行っている技術を披露する、カツオの解体ショーを行った。その他に、生徒が考案したさまざまな魚の缶詰の試食提供も行った。

平成28年11月3日 志摩文化会館を会場に「水高・志摩高フェスタ」を開催し、志摩市内の県立高校による日頃の活動成果の発表を行った。

吹奏楽部の発表や書道部、美術部、華道部、漫画文芸部の展示、移動水族館やキーホルダーづくり等の体験、また、高校生発案レシピ商品の試食などが行われた。また、各校の進学個別相談会も行われた。

平成28年11月18日 水産高校の生徒が、三重県真珠養殖漁業協同組合で、授業で学習している真珠の品質、ジュエリー制作の作品展示会を開催し、2、3年生の生徒がデザインをして制作したシルバーや那智黒石を使った真珠のアクセサリーを展示した。

平成28年12月18日 水産高校の生徒が、イオン伊勢店で、カツオの解体ショー及び開発に関わった商品の試食会を行った。使用したカツオは、水産高校実習船「しろちどり」で高校生が釣ったものを解体した。

平成28年12月22日～平成29年1月9日 志摩高校の美術部員が、1年間の成果を発表する「志摩高校美術部展」を大王美術ギャラリーで開催した。

平成29年2月19日 水産高校の生徒が、津市にあるファーマーズマーケット「高野尾花街道 朝津味」で、マグロの解体ショーを行った。



政策分野	ひとの育成		担当課	健康推進課
施策No.	1 - 5	事業名	二十歳からの健康貯蓄事業	

目的	健康に対する意識が比較的低い傾向にある20代と30代を対象に、集団健診の機会を提供することで、健康づくりの大切さを認識し、自ら重症化を予防することを心がける健康的な生産年齢世代を育成する。
----	--

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
2,478	0	2,278	200	2,230	0	1,976	254

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・定期的に健康診査を受けようと思う人の割合	71.0%	毎年50%以上	71.0%
KPI算出根拠	アンケートに回答してくれた人のうち「集団検診の実施を希望する」と回答した人数の割合 (平成28年度) $174人/245人 \times 100(\%) = 71.0(\%)$		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・健康診査の受診者に占める再受診の割合	30%	毎年45%以上	-
KPI算出根拠	健診を受けられた市民のうち、再受診した人の割合 (平成28年度) 本事業は偶数年齢での受診となっており、実績値については事業実施3年度目の平成30年度から入力可能となるため、平成28年度は実績なし。		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

1.受診者について

対象者数 4,140人

定員数 270人

申込者数 298人(キャンセル待ち含む)

受診者数 254人

若者の健診の前身である二十歳の健診を受けたことがある人の割合 19.7%

(対象年齢が変更になっているため参考値)

2.実施内容

< 事前準備 >

対象者把握

個人通知はがき印刷

通知発送

健診委託契約

健診受付申込

< 当日 >

健診項目:問診及び診察(医師)、血圧測定、身体計測(身長、体重、BMI、腹囲)、尿検査(蛋白、糖、潜血、ウロビリノーゲン)、血液検査(一般検査、肝機能、脂質、糖代謝、腎機能、尿酸代謝、風疹抗体価)

健康に関する情報提供コーナー:

スモーカーライザー(喫煙者・希望者)、食のコーナー(管理栄養士)

体組成測定、ストレスチェック、乳がんセルフチェック体験(模型展示)

健康チェックアドバイス(体組成やストレスチェックなど健康チェックコーナーの結果に対応した健康相談・保健指導)

リーフレット配布(運動、歯周病セルフチェック)、乳がん・子宮頸がん集団検診申込予約受付

託児:1日のみ午後に託児ルームを併設し、母子保健推進員に協力依頼

事後指導:健診当日に、事後指導を含む健診の流れを示した案内チラシを渡す。

< 健診実施後 >

健診結果送付後:要精密検査者、要治療者には、電話、文書、または面談による個別保健指導を実施する。

3.事業実施の様子



政策分野	ひとの育成		担当課	総合政策課
施策No.	1 - 6	事業名	心豊かな暮らしを育む人材育成事業	

目的
志摩の自然や風土に根差した志摩ならではの心豊かな暮らし方を考案し、それらを実現させるとともに、もって持続可能な社会の構築に寄与することを目的とする。

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・考案されたライフスタイルの数	-	延べ200以上	60
KPI算出根拠	ライフスタイル変革プロジェクトにおけるワークショップで考案されたライフスタイル数 (平成28年度) 職員ワークショップにおいて考案されたライフスタイル数 60個		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・心豊かな暮らし方の実践に向けた取り組みの数	-	延べ6件以上	-
KPI算出根拠	ライフスタイル変革プロジェクトにおけるワークショップで考案されたライフスタイルを具体的に実践に向け取り組んだ数 (平成28年度) 実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

東北大学大学院環境科学研究科との連携協定に基づく本プロジェクトは、平成28年度においては志摩市創生総合戦略に位置付けられてはいなかったが、市職員15名による政策ワークショップと波切地区の有志約20名による市民ワークショップを立ち上げ、それぞれ活動を開始した。

政策ワークショップについては、全4回(6/17、7/25、10/6、12/15)のワークショップを実施し、その中で今後予想される環境制約下における心豊かなライフスタイルを実現するために必要なバックキャストによる思考を学んだ。8月には、90歳ヒアリングを実施し、19名のお年寄りから戦後の暮らし方を聞き取り、現代では失われつつある暮らしの価値を学んだ。この90歳ヒアリングも参考にしながら、各自4つのライフスタイルをデザインし、合計で60個のライフスタイルを考案した。最後に全4回のワークショップや90歳ヒアリング、ライフスタイルデザイン等で学んだことを発表する場として、平成29年1月28日に成果報告会を開催した。

市民ワークショップについては、全7回(6/16、10/6、12/15、1/27、2/20、3/13、3/30)のワークショップを実施し、90歳ヒアリング(7/26)への参加(1名)と政策WSの報告会(1/28)に参加(数名)した。ワークショップの中で、波切の「だいかい」を改装し、子ども達が利用できる秘密基地を作っていくことで取り組みを進めていくことを確認した。

- 政策ワークショップ -



- 市民ワークショップ -



政策分野	ひとの確保		担当課	総合政策課
施策No.	2 - 1	事業名	若者の希望を叶える志摩づくり事業	

目的

志摩市の若者と共に若者を確保するための施策を検討し、検討結果を市の施策に反映させることを通じて、若者の希望が叶うまちづくりを推進する。

予算・決算

単位:千円

H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・まとめられた事業(計画)	-	延べ8件以上	3件

KPI算出根拠	若者を確保できるまちづくりに関する取り組みをワークショップにおいて検討し、事業としてまとめられた数 (平成28年度) 3件		
---------	---	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・取り組むことを決めた事業	-	延べ4件以上	-

KPI算出根拠	ワークショップにおいて検討し、事業としてまとめられたものを実際に取り組むことと決めた数 (平成28年度) 実績なし		
---------	---	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

- ・参加者は市内在住の20～40代で、男性9名、女性6名の15名。(このうち市職員6名)
- ・WSメンバーを3グループ(アカヒホウコ・とりあえずチーム池田でGO・Team Shimamon GO)に分けて、それぞれで若者がこの地域に住み続けたいと思えるような施策を検討した。
- ・ワークショップを5回開催(第1回 H28.7.5、第2回 H28.8.2、第3回 H28.9.6、第4回 H28.10.4、第5回 H28.11.1)し、H28.11.22には各グループが作り上げた企画のプレゼンテーションを市長をはじめとする市幹部職員の前で実施した。

- ・発表した内容は下記のとおり

アカヒホウコ ... 『自然×子ども×遊び=良縁』らぶ♥ぼらプロジェクト

若者が自分たちのまちを誇れる気持ちを醸成するための「子どもたちに“地域の素晴らしさ”を伝えるイベント」と、市内での若者同士の出逢いの場をつくるための「今までにないスタイルの婚活イベント」の2つが必要であるため、それらを一度に達成できるイベントを開催する。

具体的には、子どもたちが志摩の自然を体験するイベント(魚つかみどり・シーカヤック体験等)を実施し、そこにボランティアスタッフとして独身男女が運営に参加し、その中で“運命の相手”を見つける。

とりあえずチーム池田でGO ... komichi market × SHIMA

若者の流出を防ぐため、若者が集まれるオシャレな場所をつくることを目的に伊勢志摩地方で人気のあるイベント「komichi market」を誘致する。「komichi market」とはオシャレなカフェやショップなどが出店し、音楽とともに楽しめるオシャレなイベント。これまで伊勢市や鳥羽市で開催されているため、志摩に誘致し、定期的なイベントとして定着させ、将来的に若者を集客できるような独自イベントを開催する。

Team Shimamon GO ... アソビバプロジェクト ～遊びで志摩を活性化～

【みんなでわらじづくり】

志摩の若者が地域の高齢者にわらじづくりを教わり、世界に一足の自分だけのわらじをつくる。

【「海」のアソビバ】

志摩ならではの海にまつわる「遊び」「習わし」を体験する機会を創出する。

【志摩の写真展】

市民からインスタントカメラ限定で志摩にゆかりのある写真を募集し、各種イベントで展示する。



- ワークショップの様子 -

政策分野	ひとの確保		担当課	総合政策課
施策No.	2 - 2	事業名	若い女性が暮らしやすい志摩づくり事業	

目的

若い女性にとって住みやすい、働きやすい地域にするための施策を女性と共に検討し、検討結果を市の施策に反映させることを通じて、若い女性が暮らしやすいまちづくりを推進する。

予算・決算

単位:千円

H28 予算額	財源内訳			H28 決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
100	0	100	0	45	0	45	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・検討結果の普及啓発を行った回数	-	延べ4回以上	-

KPI算出根拠	ワークショップにおいて検討し、提言された内容に基づき、普及啓発活動を行った回数 (平成28年度) 実績なし		
---------	---	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・改良または設計された施策の件数	-	延べ8件以上	-

KPI算出根拠	ワークショップにおいて検討し、提言された内容に基づき、若い女性が暮らしやすいように改良または設計された施策の件数 (平成28年度) 実績なし		
---------	--	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

志摩市において若い女性が暮らしやすいまちにし、若い女性の働きやすさを向上させるための提言をまとめるため、ワークショップを6回開催した。ワークショップメンバーは、一般市民8人、市職員8人の計16人。

- ・第1回 志摩市で若い女性の「働きやすさ」と「働きにくさ」を考える (H28.7.19)
- ・第2回 「働きにくい」を改善し、「働きやすい」を増幅する考えは何か (H28.8.10)
- ・第3回 働きやすくするための効果的な考えは何か (H28.9.13,10.5)
- ・第4回 働きやすくするための効果的な方法を絞り、全体で共有する (H28.10.18)
- ・島根県奥出雲町への視察研修 ワークショップメンバー4人参加 (H28.11.10-11)
 - 奥出雲町における女性目線での取り組み
 - 奥出雲町女子会 咲楽(さくら)の紹介
 - みんなの場所「まつ」の紹介
- ・第5回 提言内容(案)の確認 (H28.12.13)
- ・第6回 提言内容(案)の確認 (H29.2.28)
- ・市長への提言書の提出 ワークショップメンバー3人出席 (H29.3.7)

【提言書の内容】

- (1) 企業の雇用環境に関すること
 - ア 雇用形態を幅広くする
 - イ 人員配置を工夫する
- (2) 多様な機関で取り組む仕事と人をつなぐこと
 - ア 仕事の情報発信をする
 - イ 企業に関する情報発信をする
- (3) 地域コミュニティのあり方に関すること
 - ア 人を留める取り組みをする
 - イ 支え合う協力態勢を強化する



- ワークショップの様子 -



- 市長への提言書の提出 -

政策分野	ひとの確保		担当課	総合政策課
施策No.	2 - 3	事業名	移住しやすい志摩づくり事業	

目的
志摩市に移住した人たちと共に志摩市の移住しやすさや移住に伴う苦労についてとりまとめて、その結果を市の施策に反映させて移住しやすいまちづくりを推進するとともに、多様な移住者のつながりを築く。

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
141	0	141	0	137	0	137	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・情報提供や支援体制に対する移住希望者の満足度	-	H31に70%以上	-
KPI算出根拠	移住希望者からの聞き取り等による満足度を把握 (平成28年度) 実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・支援体制に協力してくれる移住者の数	-	H31に50人以上	6人
KPI算出根拠	移住しやすい志摩づくりのワークショップへの参加人数 (平成28年度) ワークショップ参加者 6人		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

実際に志摩市に移り住んで活躍されている方をワークショップメンバーに迎え、ワークショップを実施。(全5回 メンバー6人)

- ・第1回 志摩市の状況 移住してよかったこと、苦労したことについて(H28.7.15)
 - ・第2回 移住を考えている人への情報発信(ガイドブック)をどうするか検討(H28.8.19)
 - ・第3回 移住を考えている人へガイドブックの具体的な形を検討(H28.9.8)
 - ・第4回 移住を考えている人へガイドブックの具体的な形を検討(H28.10.13)
 - ・第5回 移住を考えている人へガイドブックの具体的な形を検討(H29.3.16)
- 全5回のワークショップを実施し、ガイドブック案が完成したため、平成29年度に印刷製本に向け取り組みを進める。
なお、具体的な支援体制についても、ワークショップにおいて平成29年度から検討を実施する。



- ワークショップの様子 -

政策分野	ひとの確保		担当課	水産課
施策No.	2 - 4	事業名	水産業の担い手受け入れ推進事業	

目的
志摩市内にある漁業集落に若者を受け入れる雰囲気醸成するとともに、新たに漁業に従事しようとする若者を支援して、各地域における漁業者を増やす。

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・若者を受け入れる条件が整理された漁業集落の数	2集落	延べ5集落以上	2集落
KPI算出根拠	市内において、若者を受け入れる条件が整理されている漁業集落を把握 (平成28年度) 2集落(畔志賀漁師塾で「甲賀地区」「志島地区」の2集落が若者を受け入れる条件が整理されている。)		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・若者を受け入れた漁業集落の数	2集落	延べ4集落以上	2集落
KPI算出根拠	市内において、若者を受け入れた漁業集落を把握 (平成28年度) 2集落(畔志賀漁師塾で「甲賀地区」「志島地区」の2集落が若者を受け入れている。)		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

関係する漁協等との協議の結果、平成29年度からの的矢地区において地域おこし協力隊制度を利用した若者受け入れ体制構築に着手することとなった。

地域おこし協力隊の募集内容としては

- ・的矢地区においてカキ養殖漁業者のもとでカキ養殖に携わり、3年後を目途にカキ養殖漁業者として自立すること
- ・自治会活動等地域活動等に積極的に参加し、地域の活性化に資すること
- ・カキ養殖の魅力や的矢地区の情報発信を行うこと

募集人数は2人を予定している。

政策分野	ひとの確保		担当課	総合政策課
施策No.	2 - 5	事業名	IJU(移住)ターン促進のための奨学金返済補助事業	

目的
奨学金を受けて大学等に進学し、卒業した若者の奨学金返済額の一部を補助することで、志摩市への若者の移住、定住を促進する。

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国庫補助金	一般財源 (含起債)	その他		国庫補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・制度を利用した人の数	-	延べ100人以上	-
KPI算出根拠	志摩市奨学金返済支援補助金交付要綱に基づき、支援制度を利用した人数 (平成28年度) 要綱整備のため、実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

平成28年度については、志摩市奨学金返済支援基金条例や志摩市奨学金返済支援補助金交付要綱の制定などの制度設計を行った。

【制度概要】

- (1)卒業後、志摩に住み、志摩で就労する若者を応援する制度
- (2)奨学金の貸与を受けて大学等を卒業した市内に在住または在勤している方に対し、一定の条件を満たす場合、奨学金の返済を補助

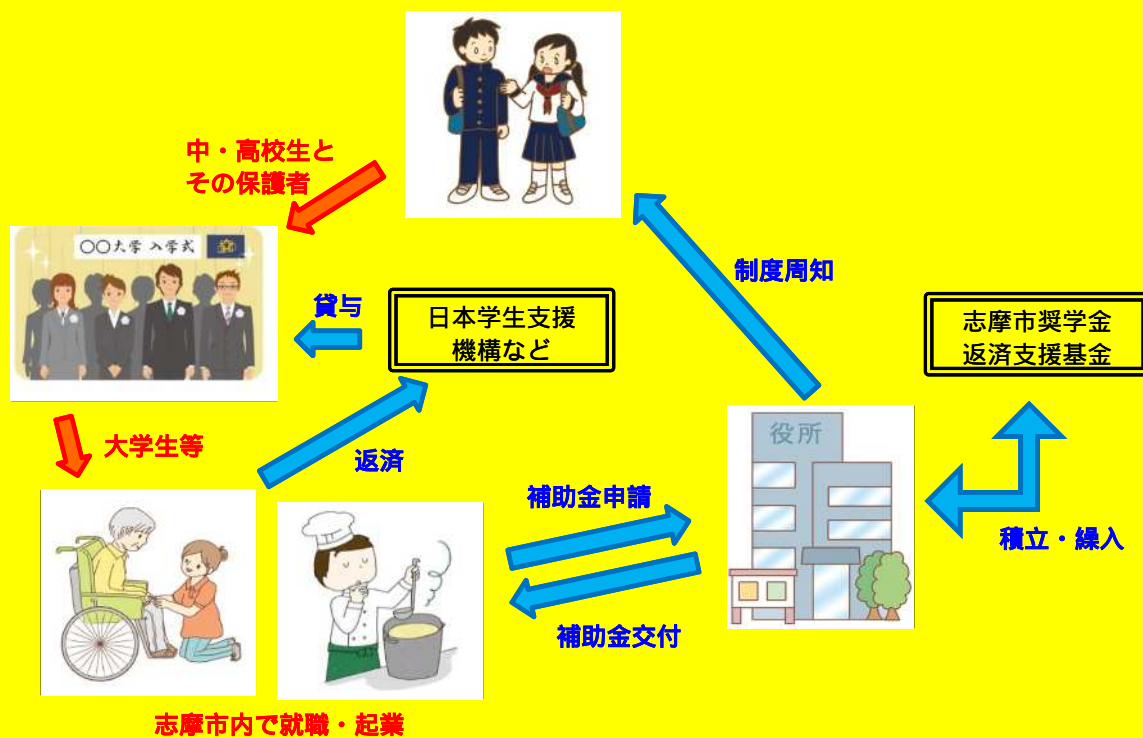
【対象者等】

- (1)対象奨学金：日本学生支援機構 地方公共団体
- (2)補助対象者：30歳以下であること
前年4月1日から引き続き住民登録があること
現在、市内において就労していることなど、一定の条件を満たしている方に限る。

【補助額】

申請する年度の前年度に返済した額の2分の1以内、上限が20万円

【制度説明図】



政策分野	ひとの確保		担当課	総合政策課
施策No.	2 - 6	事業名	若者の集いと出合いの支援事業	

目的	志摩市に若者が集まるイベントを支援することで、若者の出合いや地域の魅力を若者が再発見する機会の創出を促す。
----	---

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
700	0	700	0	700	0	700	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	500
-------------------------	-----

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・支援したイベント等で集った若者の数	-	毎年200人以上	374人
KPI算出根拠	志摩市若者の集いと出合い支援事業補助金交付要綱に基づき、支援を行った事業において集った若者の数 (平成28年度) 374人		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

平成28年7月に募集を行い、下記の4事業を受け付け、すべて支援対象事業として決定した。
補助金額は、 が20万円、 が10万円。

第5回しまコン(H28.11.20 40人)

TOKOWAKA Biker's MTG(H28.10.15-16 136人)

志摩地域の若者が元気になれる集い「水高・志摩高フェスタ」(H28.11.3 75人)

平成29年志摩市三十路式(H29.2.12 123人)



- 第5回しまコン -



- TOKOWAKA Biker's MTG -



- 水高・志摩高フェスタ -



- 平成29年志摩市三十路式 -

政策分野	ひとの確保		担当課	都市計画課
施策No.	2 - 7	事業名	家主と移住者のためのリノベーションによる空き家活用等事業	

目的	志摩市内の空き家のリノベーションを推進し空き家の活用を図るとともに、リフォームにも助成し移住者を増やす。
----	--

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
4,000	2,000	2,000	0	4,000	2,000	2,000	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・リノベーション助成を利用して移住した件数	0件	延べ5件以上	2件
KPI算出根拠	1件/年 × 5年(H27年度～H31年度) = 5件 (平成28年度) 2件		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・リフォーム助成を利用して移住した件数	0件	延べ15件以上	-
KPI算出根拠	5件/年 × 3年(H29年度～H31年度) = 15件 延べ5件以上から延べ15件以上に変更予定 (平成28年度) 要綱整備のため、実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

1. リノベーション 志摩市移住促進空き家改修支援事業

市内に存する空き家住宅・空き建築物を、住宅として使用するために必要となる改修費用について補助
改修工事に要する費用(消費税を含む)の3分の2に相当する額とし、200万円を限度とする。

○滋賀県からの移住者

平成28年9月 補助金申請、平成28年12月 実績報告、平成28年12月 転入

屋根棟板金補修塗装、外壁塗装、フローリング張り替え、浴室をユニットバスに取り替え、トイレ改修
和室から洋室へ変更(床の間・押入れ撤去、畳を撤去してフローリング張り)、給排水衛生工事等

補助金額 2,000,000円

○大阪府からの移住者

平成28年12月 補助金申請、平成29年2月 実績報告、平成29年2月 転入

屋根・外壁塗装(一部の外壁張替、破風板・軒天取り替え)、キッチン・リビングの壁へ断熱材新規入れ
浴室をユニットバスに取り替え、和室～リビングの壁撤去及び畳からフローリングへ変更等

補助金額 2,000,000円

2. リフォーム 志摩市移住促進住宅リフォーム支援事業

市内に在する住宅で、居住の用に供する建物をリフォームする者に対し、リフォームに要する費用について助成
リフォームに要する費用(消費税を除く)の10分の5に相当する額とし、20万円を限度とする。

平成29年度新規事業のため、平成28年度実績なし

政策分野	ひとの確保		担当課	総合政策課
施策No.	2 - 8	事業名	若者世代の移住促進事業	

目的	若者または中学校卒業前の子どもをもつ世帯の移住を促進し、若者世代を中心に社会減を抑制する。
----	---

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・制度を利用して移住した件数	-	延べ5件以上	-
KPI算出根拠	志摩市若者・子育て世帯移住促進家賃支援事業補助金交付要綱に基づき、支援を行い、実際に志摩市に移住された件数 〔平成28年度〕 要綱整備のため、実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

志摩市若者・子育て世帯移住促進家賃支援事業補助金交付要綱の整備にかかり、平成28年度は制度設計等を実施。平成29年4月1日から要綱施行。

【制度概要】

若者や子育て世帯の移住者に対し、市が定める一定の要件を満たした場合、家賃を補助

- ・補助金:家賃の2分の1(上限2万円/月)
- ・期間:移住から1年間(一次産業に就業した場合は3年間)

政策分野	ひとの確保		担当課	農林課
施策No.	2 - 9	事業名	農業の担い手受け入れ推進事業	

目的
志摩市内で新たに農業に従事する人を増やすとともに、農業を伝える人材を育成することで、農産物の生産量を増やし、持続可能な農業の確立を図ることを目的とする。

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・生産指導を行う既存の農業者(個人又は団体の数)	-	3人以上	-
KPI算出根拠	農業の担い手を作っていくために、生産指導や人材育成を行う農業者数を把握 (平成28年度) 実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・新たに農業に従事した者の数	-	6人以上	-
KPI算出根拠	地域おこし協力隊の制度を活用して、新たに農業に従事した人数を把握 (平成28年度) 実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・生産量が増加した農産物の数	-	3種類以上	-
KPI算出根拠	新たな担い手を育成することにより、生産量が増加した農産物の数を把握 (平成28年度) 実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

関係する農協等との協議の結果、平成29年度から神明・国府地区において地域おこし協力隊制度を利用した農業従事希望者の受け入れ体制構築に着手することとなった。

地域おこし協力隊の募集内容としては

- ・神明・国府地区において、志摩市特産品のいちご「レッドパール」と「きんこ」の原料となる隼人芋の栽培研修を受け、3年以内にそれらの特産品を主とした生産で就農を目指すこと
- ・自治会活動等地域活動等に積極的に参加し、地域の活性化に資すること
- ・農業の魅力や地域資源の情報発信を行うこと

募集人数は2人を予定している。

政策分野	まちの発見		担当課	市長公室
施策No.	3 - 1	事業名	志摩市ホームページの魅力向上事業	

目的
志摩市のホームページ運営において、市民や志摩市と交流のある市外の人の協力を得て、志摩市の魅力を発信するとともに掲載内容の面白さを追求し、志摩市に興味を持ってくれる人を増やす。

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
1,932	0	1,932	0	1,932	0	1,932	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・HPの年間アクセス数	300,000件	年間325,000件以上	425,256件
KPI算出根拠	志摩市のホームページへの年間アクセス数 (平成28年度) 425,256件/年		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・HPへの市民による年間投稿件数		年間300件以上	32件
KPI算出根拠	志摩市のホームページへ市民から投稿された件数 (平成28年度) 32件/年		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・HPが見やすいと答えた人の割合	-	毎年80%以上	17.9%
KPI算出根拠	市民アンケート調査結果による志摩市ホームページを「見やすい」と答えた人の割合 (平成28年度) $106人 / 591人 \times 100\% = 17.9\%$		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

志摩市のホームページで投稿コーナー「撮っておき志摩」を開始した。

また平成29年3月に開設した「クックパッド志摩市公式キッチン」のページでホームページのURLを掲載し周知した。



政策分野	まちの発見		担当課	総合政策課
施策No.	3 - 2	事業名	きらり志摩びと紹介番組放送事業	

目的	志摩市のあらゆる分野で元気に頑張っている市民やその分野に精通している市民を、広く市民に紹介するとともに、紹介した人との人材ネットワークを構築する。
----	---

予算・決算	単位:千円						
H28 予算額	財源内訳			H28 決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
5,627	0	5,627	0	5,620	0	5,620	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・番組で紹介した市民や団体の数	-	延べ50以上	11件
KPI算出根拠	きらり志摩びと紹介番組で紹介した市民や団体の数 (平成28年度) 11件		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・番組を見た市民の割合	-	毎年50%以上	32.0%
KPI算出根拠	市民アンケート調査結果による紹介番組を見た市民の割合 (平成28年度) 189人 / 591人 × 100% = 32.0%		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・番組で紹介した人とのネットワーク	構築されていない	構築されている	構築されていない
KPI算出根拠	番組で紹介した人たち同士のネットワークの構築 (平成28年度) 構築されていない		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

・下記の個人・団体等にインタビューを実施した。

- No.1 FC.伊勢志摩
- No.2 志摩ノ海関
- No.3 移動スーパー とくし丸
- No.4 バレーボール女子 日本代表 山口舞選手
- No.5 立体造形家 タナベシンさん
- No.6 志摩に移住 海女夫婦
- No.7 志摩広域消防組合 女性消防士
- No.8 平成29年志摩市成人式
- No.9 海女漁の技術が文化財へ 志摩海女保存会
- No.10 いわて国体 相撲成年男子 団体戦準優勝 志摩高校 滝田先生
- No.11 フランス出身 イレール・キャミさん

・上記のほか、番外編として、志摩市官学連携助成事業で立命館大学産業社会学部の学生が制作した番組「立命館生は見た 志摩市ってどんなところ？～きんこ芋に魅せられて～」を放送した。



政策分野	まちの発見		担当課	総合政策課
施策No.	3 - 3	事業名	志摩びと結ぶ志摩市広報事業	

目的	「広報しま」を活用し、様々な分野で活躍する市民の存在を広く市民に紹介するとともに、リレー方式で紹介していくことで、活躍する市民のつながりを豊かにする。
----	---

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
5,666	0	5,666	0	5,502	0	5,502	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・紹介した市民の数	-	延べ50人以上	10人
KPI算出根拠	志摩びと結ぶ志摩市広報事業で紹介した市民や団体の数 (平成28年度) 10人		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・特設コーナーを読んだことのある市民の割合	-	毎年60%以上	53.8%
KPI算出根拠	市民アンケート調査結果による広報しまの特設コーナーを読んだことのある市民の割合 (平成28年度) 318人 / 591人 × 100% = 53.8%		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・紹介した人とのネットワークの構築	構築されていない	構築されている	構築されている
KPI算出根拠	広報しまで紹介した人たち同士のネットワークの構築 (平成28年度) 構築されている ご出演いただいた皆さんにお集まりいただき、交流会を開催(H29.3.23 8人出席)		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

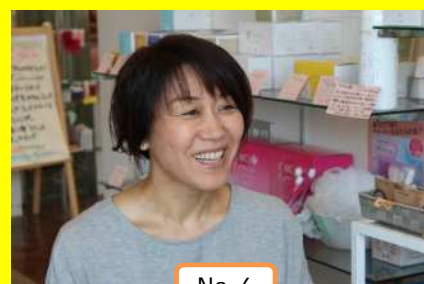
実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

下記のとおり取材し、広報しまに掲載した。

広報 6月号 No. 1 柴原 行正
広報 7月号 No. 2 坂本 臣由
広報 8月号 No. 3 山崎 豊成
広報 9月号 No. 4 塩本 幸子
広報 10月号 No. 5 西村 好信
広報 11月号 No. 6 廣岡 智佳子
広報 12月号 No. 7 廣岡 卓
広報 1月号 No. 8 高木 俊道
広報 2月号 No. 9 松尾 明津
広報 3月号 No.10 小久保 秀峰



政策分野	まちの発見		担当課	総合政策課
施策No.	3 - 4	事業名	地域の資源を活用するためのプラットフォーム創出事業	

目的
様々な知識、経験、技術及びアイデアを有する市内の人や団体が連携できる場(プラットフォーム)を創出することで、地域の再発見と地域の資源を生かす市民の協働を促す。

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・プラットフォームに参加している人の数	-	延べ100人以上	102人
KPI算出根拠	年度内に開催したプラットフォーム創出事業に参加された人数 (平成28年度) 第1回 42人 第2回 50人 第3回 10人 計 102人		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・プラットフォームを通じて生み出された協働の数	-	延べ10件以上	-
KPI算出根拠	年度内に開催したプラットフォーム創出事業に参加された人たちのなかで、連携・協働の体制がとられた件数 (平成28年度) 実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

(1) 第1回

開催日時:平成28年8月6日(土) 15:00～17:00

開催場所:阿児アリーナ ベイホール

テーマ:「志摩市の農業を継承していくには…」

スピーカー:伊藤敏宏さん(母農家) 森川まさるさん(きんこ農家) 結城康文さん(野菜農家)

参加者:42人

(2) 第2回

開催日時:平成28年10月29日(土) 15:00～17:00

開催場所:阿児アリーナ ベイホール

テーマ:「地域資源を生かし地方創生へ…」

スピーカー:平田晋也さん(伊勢志摩直送) 石川隆将さん(伊勢志摩冷凍)

石本直樹さん(志摩スポーツコミッション)

参加者:50人

(3) 第3回

開催日時:平成29年2月27日(月) 19:00～21:00

開催場所:志摩市役所 401会議室

テーマ:「地域で活躍する若者の雇用と人材育成」

出席者:大西 晶さん((株)志摩地中海村) 田辺紀彦さん((株)利八屋)

平田晋也さん(伊勢志摩直送) 宝門 誠さん(志摩環境事業協業組合)

三重県立志摩高等学校 三重県立水産高等学校

参加者:10人

【事業の様子】



—第1回—



—第2回—



—第3回—

政策分野	まちの発見		担当課	農林課
施策No.	3 - 5	事業名	農産物の生産実態把握事業	

目的	市内で生産される農産物について、産品別の生産量と生産額を把握するとともに、販売場所、流通経路等も把握する。
----	---

予算・決算	単位:千円						
H28 予算額	財源内訳			H28 決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
1,794	0	1,794	0	0	0	0	

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・調査に協力してくれた人の割合	-	調査実施時に70%以上	18.1パーセント
KPI算出根拠	農産物の生産実態把握調査に関するアンケートに協力してくれた人の割合 (平成28年度) $194通/1,072通 \times 100(\%) = 18.1(\%)$ (農業委員会データから過去3年間に農業従事日数があるものを抽出) 一次産業を含む観光関連産業の成長可能性と地域経済における観光消費経済波及効果把握業務による アンケート調査(4-6 地域をめぐる観光消費拡大事業参照)		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・生産量及び生産額、並びにそれらの物流の把握	把握できていない	把握できている	部分的に把握できている
KPI算出根拠	農産物の生産量及び生産額、並びにそれらの物流を把握 (平成28年度) 食品流通調査結果では、宿泊施設、飲食施設、食品小売店、直売所までを調査対象とし、それぞれの業種から の調査結果から農産物の物流等の把握を行うことができた。 一次産業を含む観光関連産業の成長可能性と地域経済における観光消費経済波及効果把握業務による アンケート調査(4-6 地域をめぐる観光消費拡大事業参照)		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

一次産業を含む観光関連産業の成長可能性と地域経済における観光消費経済波及効果把握業務(4-6 地域をめぐる観光消費拡大事業)において農産物の需要・流通調査が行われ、実際の流通状況や利用状況が把握できた。

志摩市産の野菜については、JAや近隣の各市場等を経由して特定の作物が市外に出荷されているがその額、量は少なく、多くが市内で消費されていることが分かった。一方、市内での野菜の生産量が少ないため、市外からの調達が多くなっている状況も確認できた。

宿泊施設、飲食サービス施設等へのアンケート結果では、宿泊施設で提供される農産物に占める志摩市産の割合は、穀物については約4割、野菜については1割にも満たない回答となった。野菜については、民宿・ペンションで約3割となったもののホテルや旅館では1割未満であった。

飲食施設では、志摩市産の割合は穀物については5割台半ば、野菜については4割弱となっており、宿泊施設に比べると高くなっていることが分かった。

民宿等の小規模な宿泊施設や飲食施設では、自家栽培や近隣農家から直接調達している施設があるが、量的には少ないものと推測された。

政策分野	しごとの強化		担当課	総合政策課
施策No.	4 - 1	事業名	ふるさと応援寄附推進事業	

目的

「ふるさと納税」の仕組みを活用して、志摩市内の事業者の生産品の販路拡大や志摩市に訪れる機会の創出を行うことで地域経済の活性化を図るとともに、消費者ニーズを踏まえた商品開発やサービスの向上を促す。

予算・決算

単位:千円

H28 予算額	財源内訳			H28 決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
1,210,041	0	1,210,041	0	1,174,493	0	1,174,493	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・年間の経済波及効果	3.5億円	毎年3億円以上	3.7億円

KPI算出根拠	市内における本事業に伴う経済波及効果(特産品等購入額 返礼品用) (平成28年度) 特産品等購入額 377,130千円		
---------	---	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・最初に返礼品を出荷した年に比べてふるさと応援寄附の返礼品の出荷が原因で、事業者の取り扱う商品が増加している事業者の割合	100%	毎年70%以上	把握していない

KPI算出根拠	アンケート調査結果により取り扱う商品が増加している事業者の割合を把握 (平成28年度) 把握していない		
---------	---	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

・平成27年6月に返礼品を開始した志摩市ふるさと応援寄附事業は、28年度の寄附件数10,391件、総寄附金額786,729,105円あり、前年度を112,787,780円上回った。

【ふるさと応援基金の運用状況】

・基金の繰入金は用途別で、

環境に関する事業	29,000,000円
生活・安全に関する事業	13,300,000円
産業の振興に関する事業	23,565,000円
健康・福祉に関する事業	25,500,000円
教育・文化に関する事業	35,200,000円
まちづくりに関する事業	5,600,000円
その他個別の事業	8,135,000円
計	140,300,000円



- 伊勢志摩サミット推進事業 -



- 6次産業化推進事業 -



- 種苗放流事業 -

政策分野	しごとの強化		担当課	農林課/水産課
施策No.	4 - 2	事業名	生産物の販路拡大による農林水産業活性化事業	

目的	都市部や観光客のニーズに応じた生産物の販路を検討し、消費者を意識する生産者を育成することで、生産者の利益を高める販路の拡大を推進して、農林水産業を活性化する。
----	---

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国庫補助金	一般財源 (含起債)	その他		国庫補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
ニーズを踏まえて販路拡大に取り組んだ生産物の数	-	延べ10品目以上	17品目
KPI算出根拠	<p>ニーズを踏まえて販路拡大に取り組んだ生産物の数を把握 (平成28年度) 志摩市における未利用漁等を下記の3つのカテゴリーに分類し、販路拡大を目的として東京で開催されたアグリビジネス創出フェアにブース出展した生産物の数</p> <p>多獲性低価格漁…………… サバ類 イワシ類 アジ類 ソダカツオ アイコ 味は良いがマイナーで低価格の魚介類…………… ヒオキガイ シラ ヒレキ ゴンズイ 小ダイ 小ハギ 小イ 志摩市では食す習慣がなかったおいしい未利用資源…………… イガイ ムサキガイ アカモク ヒラキ 農産物関係……………きんこ</p>		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
販路が拡大できた生産物の数	-	延べ5品目以上	1品目
KPI算出根拠	<p>販路が拡大できた生産物の数の把握 (平成28年度) イベントへの参加、調理教室などを行い情報発信することで、未利用資源として試験操業を行っている「アカモク」の1品目について販路が拡大された。 今後、加工業者を通じ、飲食店、土産物屋、スーパー、旅館などで扱われるようになるよう販路を拡大中である。</p>		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

農林課

平成28年12月13日から平成28年12月16日まで東京で開催された、アグリビジネス創出フェア2016に志摩市の特産物、特に「きんこ」について、生産拡大と販路拡大等に関する情報収集を目的として出展。ブース訪問者から、販路拡大に関する多数の意見、情報を得ることができた。



水産課

平成28年12月13日から平成28年12月16日まで東京で開催された、アグリビジネス創出フェア2016に水産課が生産物の販路拡大等を目的として出展。販路拡大を目指し「16品目」の魚介類の情報発信をパネル展示にて行ったところ、見学者から、販路拡大に関する多数の意見、情報を得ることができた。

【ブース出展した16品目】

多獲性低価格漁…………… サハ類 イワシ類 アジ類 ソウダカツオ アイコ
 味は良いがマイナーで低価格の魚介類…………… ヒオウギガイ シラ ハチビキ ゴンズイ 小ダイ 小ハギ 小イカ
 志摩市では食す習慣がなかったおいしい未利用資源… イガイ ムラサキイガイ アカモク ヒラキ



政策分野	しごとの強化		担当課	農林課
施策No.	4 - 3	事業名	農業生産者の強化と育成事業	

目的	効率的な農作物の栽培を支援することで、農業生産者の安定的な収益確保、就農者の増加、地産地消の推進を図る。
----	--

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
900	0	900	0	513	0	513	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・生産量と生産額を増やした農業生産者の数	4者	延べ20者以上	4者
KPI算出根拠	生産性の向上と育成を図ることを目的として、ビニールハウスの新設を行う場合の補助制度を利用した市内の農業生産者の数 (平成28年度) 4者		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・制度を活用した農業生産者でインターン等をした若者の数	-	延べ5人以上	-
KPI算出根拠	新規就農者等の育成にも参画してもらうことを補助制度活用の条件としているため、実際にインターン等を行った若者の人数を把握 (平成28年度) 実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

ビニールハウスの新設に対して補助を実施する事業であり、設置したハウスと実際に施設を使用して作付を行っているかで実績確認を行った。

- ・生産者 150千円を上限(事業費の1/2以内)
- ・平成28年度は4人に助成を実施した。



政策分野	しごとの強化		担当課	水産課
施策No.	4 - 4	事業名	新たな漁業者を受け入れる漁港整備事業	

目的	漁業従事者が増加している地区の漁港を改良し、漁船の係留箇所を確保することで、水産業の振興を図る。
----	--

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
9,900	0	9,900	0	9,884	0	9,884	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・安全に係留することが可能となった漁港の数	-	延べ1つ以上	-
KPI算出根拠	安全に係留することが可能となった漁港の数を把握 (平成28年度) 甲賀漁港が安全に係留することができる漁港となるよう設計を実施。 平成29年度において工事施工予定であることから、平成28年度は実績なし。		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

平成28年度甲賀漁港測量設計業務委託(平成28年7月11日契約)

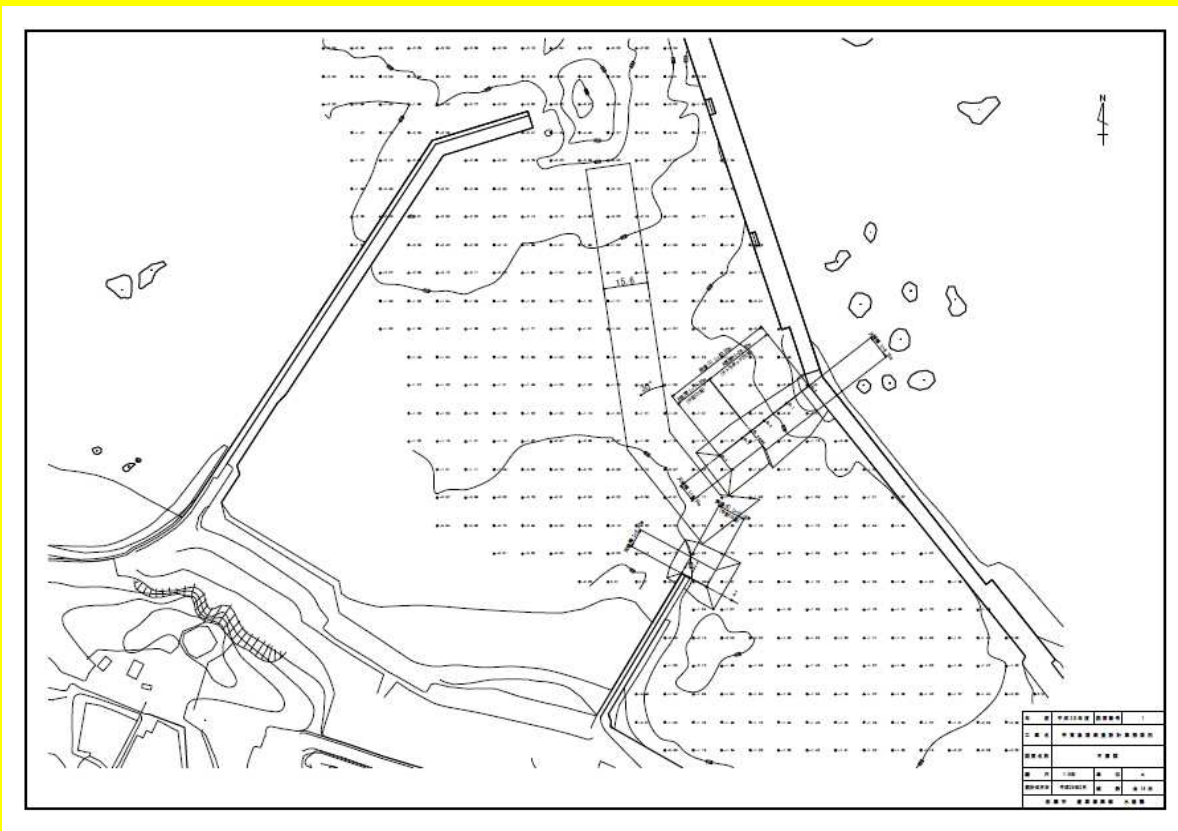
業務委託料9,884,160円

受託者:(公財)三重県建設技術センター

工期:平成28年7月11日から平成29年2月3日

・風や波の影響を受け安全に係留できる水域の狭い甲賀漁港に突堤を新設し静穏な水域を確保するための設計を行った。

突堤(40m + 10m = 50m)



政策分野	しごとの強化		担当課	観光商工課
施策No.	4 - 5	事業名	外国人観光客誘致推進事業	

目的	伊勢志摩地域としての観光拠点づくりを広域連携で推進するとともに、志摩市内における外国人観光客受け入れ環境の強化を図ることで、外国人観光客の多様化と増加を促し、地域の観光関連産業を成長させる。
----	---

予算・決算	単位:千円						
H28 予算額	財源内訳			H28 決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
9,000	0	9,000	0	9,000	0	9,000	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・外国人観光客数	46,244人	H31に100,000人以上	68,780人
KPI算出根拠	外国人宿泊客数(資料出所:外国人宿泊統計集計 観光庁・三重県) 〔平成28年度〕 68,780人		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・外国人観光客に占める東南アジアからの観光客の割合	5.9%	H31に20%程度	6.15%
KPI算出根拠	外国人宿泊客のうち、東南アジア(シンガポール、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン)からの宿泊者の割合 〔平成28年度〕 外国人宿泊客数:68,780人 うち東南アジア(シンガポール、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン)からの宿泊者数:4,230人 6.15%		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・外国人観光客に占める欧米からの観光客の割合	3.2%	H31に10%程度	8.81%
KPI算出根拠	外国人宿泊客のうち、欧米(アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン)からの宿泊者の割合 〔平成28年度〕 外国人宿泊客数:68,780人 うち欧米(アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン)からの宿泊者数:6,060人 8.81%		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・地域連携DMOの構築	構築されていない	構築されている	構築されていない
KPI算出根拠	関係する市町等において地域連携DMOについて協議・構築を目指す 〔平成28年度〕 構築されていない		

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

誘客営業

- ・国内出張(東京・大阪・愛知中心) 11回 24日間
- ・海外出張(台湾・香港・中国・タイ) 7回 35日間

広域連携

- ・県及び金融機関など地元の情報発信における連携を強化するとともに、新しく開業した宿泊施設等と連携し志摩市ならではの魅力を発信した。

情報発信

- ・国内外のインバウンド商談会への参加。旅行社視察やメディア関係者の取材等の受入及びアテンド。

アフターサミット対策

- ・市内観光事業者に対し、個人旅行化に向けた準備及び受け入れ態勢強化施策として、セミナーを開催。

地域連携DMOは関係する市町で議論がされていない状況である。

政策分野	しごとの強化		担当課	総合政策課/農林課/水産課/観光商工課
施策No.	4 - 6	事業名	地域をめぐる観光消費拡大事業	

目的	主に観光客向けに販売、提供されているものの域内調達率を上げるとともに、観光客の市内の周遊性を高めることで、観光消費額を上げて地域に残るお金を増やす。
----	--

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
22,200	22,000	200	0	20,584	20,584	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI				
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値	
・調査に協力してくれた事業者の割合	-	調査実施時に70%以上	18.4%	
KPI算出根拠	一次産業を含む観光関連産業の成長可能性と地域経済における観光消費経済波及効果把握業務における調査協力事業者の割合 [平成28年度] 314通/1,707通 × 100% = 18.4% 内訳 宿泊施設: 42通/174通 × 100% = 24.1% 飲食施設: 45通/307通 × 100% = 14.7% 食品小売業・土産品店・直売所・食品加工業: 33通/154通 × 100% = 21.4% 農業従事者: 194通/1,072通 × 100% = 18.1%			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値	
・観光消費額及び観光関連産業の域内調達率が把握できている	把握できていない	把握できている	把握できている	
KPI算出根拠	一次産業を含む観光関連産業の成長可能性と地域経済における観光消費経済波及効果把握業務により把握 [平成28年度] 把握できている			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値	
・制度を試行した区域における観光消費額	-	仕組み導入後に10%以上増加	64.7%	
KPI算出根拠	アンケート調査結果により、制度を試行した区域における観光消費額を把握 [平成28年度] クーポン参画事業者(31事業者)中、アンケート回答があった28事業者のうち売上データがない事業者や無回答である事業者を除く17事業者に対して、昨年同期比 売上増減率を聞き取りし把握 64.7%			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値	
KPI算出根拠				

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】(地方創生加速化交付金を活用)

一次産業を含む観光関連産業の成長可能性と地域経済における観光消費経済波及効果把握業務

・目的 市内の農産物及び水産物の生産額や物流等について把握するとともに宿泊業及び飲食サービス業において提供されるサービス等の域内調達率等について把握することを通じて、地域の産業及び経済に関する基礎的な情報を収集し、地域の生産物を域内により多く流通させる可能性や一次産業を含めた観光関連産業の成長可能性と、地域経済における観光消費の経済波及効果を把握するため、調査及び分析業務を実施した。

・委託業者 ㈱百五総合研究所

・分析結果を踏まえての提案

1. 三方良しの連携づくり

今回の調査のなかでの発見として、大規模宿泊施設が宿泊者に地魚を美味しく食べさせてくれる飲食店やお土産に良い地魚を売っている魚屋を紹介したり、送迎したりしている事例があった。これは、大規模店舗、地域の飲食店や魚屋、お客様の三者すべての満足につながる三方良しの関係が出来上がっていることを示しており、事業者間の連携と信頼がその基となっている。これらの連携や信頼を深めていくことが重要である。

(1) 美味しいもの、ことの連携づくり

(2) 住民を含めた連携づくり

2. 食材の活用・発見

宿泊施設、飲食施設では、定番のブランド食材以外に新たな誘客につながる食材が求められている。一方で、その魅力が十分生かされていない多種多様な素材が市内にあることもわかった。これらの活用方法を検討していく必要がある。

(1) 「おまかせ」のブランド化

(2) 地魚や地物野菜の活用方法(レシピ)の研究、共有

(3) 新たな、人を呼べる食材の創出

3. 市内流通の拡大

志摩市産水産物については、仲卸・魚屋を通じて宿泊施設、飲食施設にある程度流通しているが、住民に対してはあまり流通していない状況がある。また、農産物については生産量が少ないこともあり、宿泊施設や飲食施設、住民の需要を賄うことは難しく、流通も少ない状況となっている。現状、スーパーでは志摩市産のニーズが高いにも関わらず、その割合が低くなっていることから、供給ルートを確立することが求められる。

(1) 地元産の魚介類や野菜を安定して供給する市場等の開設

(2) 集荷デポ(倉庫・保管所)の設置

(3) 配達、移動販売の仕組みづくり

4. 出荷量の拡大・生産者の利益向上

農産物については生産量、出荷量が需要に大きく足りないことから、生産・出荷を増やすことが第一となる。水産物については、今後も生産(漁獲)の維持継続がなされることがまず重要である。そのためには、生産者に利益が出るのが基本になると考えられる。

(1) 自家消費、おすそ分け用から商品に

(2) 生産者が儲けられる直売所に

(3) 農業、漁業従事者の確保、人材育成

(4) 連携強化、組織化による出荷量の確保

5. その他

志摩市内ではスーパー、八百屋、魚屋などの閉店で、いわゆる買い物難民が発生している。観光需要とも合わせて市内需要の拡大を図ることで、地域を支える商業機能を維持していくことが重要になっている。この課題に、商業者だけでなく、生産者や流通事業者、観光関連事業者も関わって取り組んでいく必要がある。

周遊促進ツール作成管理・販売促進業務

・目的 観光施設や宿泊施設と飲食店・土産物店の連携を図り、観光消費を拡大するための周遊促進ツール(志摩市ぐるっとクーポン)の作成管理を行い、併せてクーポンの販売・促進も行う。

・クーポン販売期間 平成28年9月1日～平成29年3月31日

・クーポン参画事業者 31事業者

・クーポン販売実績 170冊

政策分野	しごとの強化		担当課	水産課
施策No.	4 - 7	事業名	未利用資源を活用した漁業振興事業	

目的	生業としての漁業の魅力をさらに高めるため、地域としての流通頻度の低い、または未利用となっている水産物(以下、「未利用資源」という)を活用した資源管理型の漁業の可能性を検討し、試行を通じて漁業を振興する。
----	---

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・未利用資源として定めた水産物を対象に資源管理型の漁業等を試行した件数	-	延べ2件以上	1件
KPI算出根拠	未利用資源として定めた水産物を対象に資源管理型の漁業等を試行した件数を把握 (平成28年度) 「アカモク」を未利用資源として取り上げ、継続して資源管理型の漁業を目指し試験操業を行った。		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・試行で得られた水揚げ高	-	延べ1,000万円以上	530,100円
KPI算出根拠	試行で得られた水産物の水揚げ高を把握 (平成28年度)平成28年4月～平成29年3月のアカモク試験操業での水揚げ高 平成28年4月20日 浜島地区 190kg 32,490円 平成28年5月7日 波切地区 1,290kg 220,590円 平成29年2月25日 安乗地区 1,000kg 171,000円 平成29年3月29日 浜島地区 620kg 106,020円 計 3,100kg 530,100円		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

平成28年度は「安乗地区」「浜島地区」「波切地区」において、生息調査及び試験操業を行い、水揚げ量は3地区で3.1t、水揚げ高は530,100円であった。

平成29年度の試験操業に向け、平成29年3月13日に水産課2名と甲賀地区漁業者10名において「甲賀地区」の生息調査を行った。

平成28年8月24日にはアカモクの漁獲体制確立に向け「漁業者」「地元加工業者」「三重外湾漁業協同組合」「伊勢農林水産事務所」「三重県水産研究所」「志摩市」で意見交換会を開催し、未利用資源であるアカモクについて資源管理型の漁獲体制の確立を目指し調査、操業を継続して行うことになった。



政策分野	しごとの強化		担当課	総合政策課
施策No.	4 - 8	事業名	中小企業者等のための商談会等出展支援事業	

目的	志摩市内の中小企業者等による販路の拡大や新しいニーズに応じた商品開発等を促進することを目的とする。
----	---

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・商談会等に出展し、新しい販路を開拓した事業者の数	-	延べ15者以上	-
KPI算出根拠	支援を行った中小企業等が開催した商談会等で、新しい販路を開拓した事業者数を把握 (平成28年度) 要綱整備のため、実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・商談会等への出展を踏まえて新たな商品を開発した事業者の数	-	延べ5者以上	-
KPI算出根拠	支援を行った中小企業等が開催した商談会等に出展した事業者のうち、新たな商品を開発した事業者数を把握 (平成28年度) 要綱整備のため、実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

- ・中小企業者等に対し、国内外における商談会等に出展する経費の一部を助成することで販路拡大の場への参画を促すとともに、バイヤー等の商談や情報交換をとおし商品のトレンドやニーズを把握することで、新たな商品開発につなげ、より魅力的な商品を提供し、商業の活性化を図るための制度設計を行った。
- ・具体的な支援方法として、「志摩市商談会等出展支援事業補助金交付要綱」を策定し、財政的支援を行うこととした。
- ・商談会、展示会、見本市その他販路拡大及び新規需要開拓を目的として、製品、技術及び特産品を来場者に対して展示し、又は商談を行う催しを実施する市内の中小企業者及び中小企業団体等に対し、出展料の1/2に相当する額を助成する。ただし、1事業者あたり国内10万円・国外20万円を限度とする。

【支援開始時期】

- ・平成29年4月1日から実施する。

政策分野	しごとの創出		担当課	総合政策課
施策No.	5 - 1	事業名	地域の仕事カケモチ型就業推進事業	

目的
志摩市ならではの仕事に複数従事することで、一年を通じて安定した収入が得られるような働き方の検討と試行を通じて、雇用の創出と産業振興を図る。

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・カケモチ型の就業者を受け入れてくれる事業者の数	-	H31に30者以上	-
KPI算出根拠	求人情報の提供を行っていただけの一次産業事業者の数 (平成28年度) 実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・カケモチ型の就業を実践する人の数	-	延べ5人以上	-
KPI算出根拠	本施策による仕組みを活用し、カケモチ型の就業を実践する人の数 (平成28年度) 実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

水産業や農業など一次産業に特化した形で、繁忙期の異なる事業者の把握を行い、求人情報の提供が行える仕組みの構築を図った。

具体的には、以下の方法を検討し、次年度以降、専用のホームページを開設することとした。

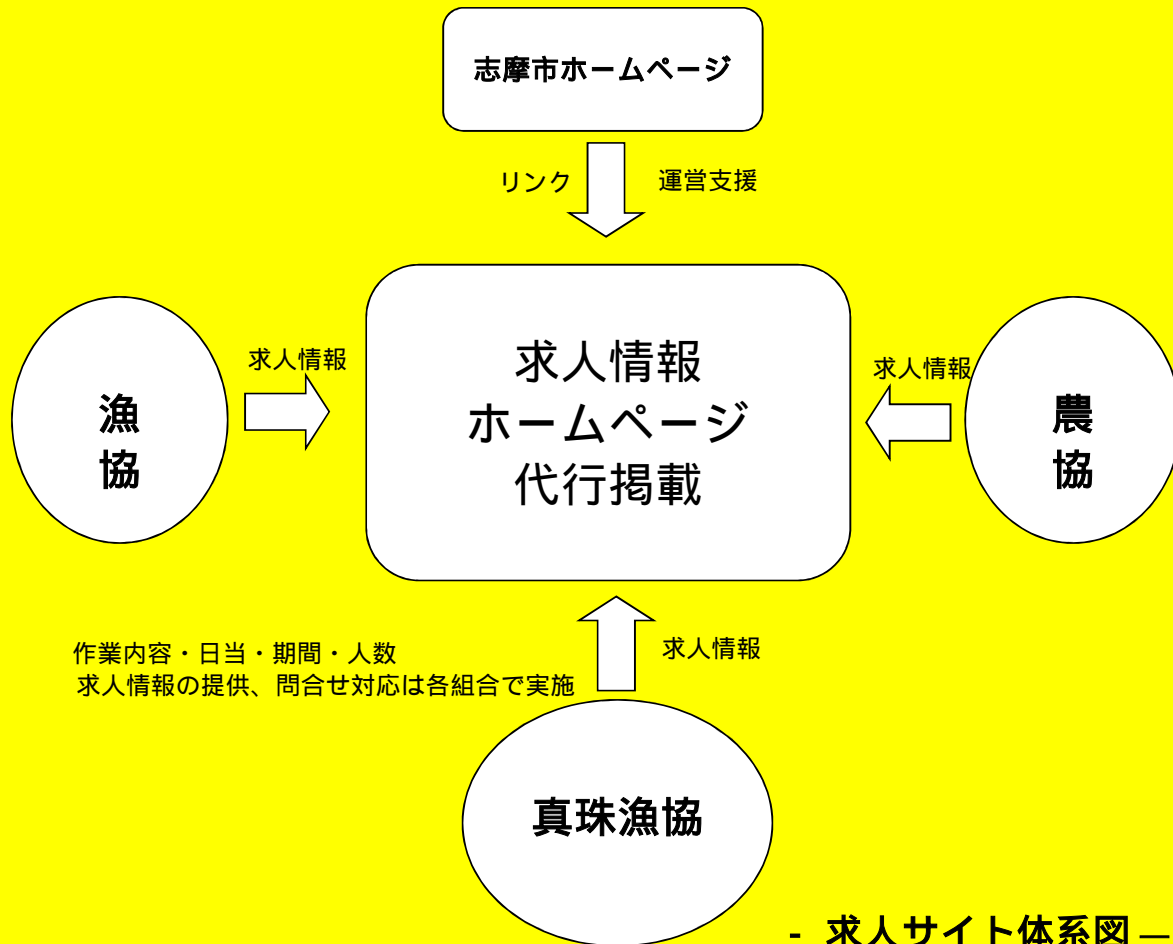
求人を希望する農協、漁協、真珠漁協等一次産業事業者である各組合は、それぞれの組合員の求人情報を収集して、専用ホームページ管理業者に情報提供を行う。情報の提供範囲は、民間人材派遣業やハローワークと重複しないこととする。

専用ホームページ管理業者は、それらの情報を組合別に集約し代行掲載することで、市民への求人に関する情報提供を行う。情報提供を行う際には、責任の所在となる連絡先や問い合わせ先を明記する。

各組合のホームページ側には、求人情報にかかる専用ホームページがリンクして閲覧できるようバナー等で案内する。

志摩市ホームページともリンクすることで、市としても運営支援を行っていく。

【体系図】



政策分野	しごとの創出		担当課	総合政策課
施策No.	5 - 2	事業名	志摩市を元気にする創業及び事業拡大支援事業	

目的

業種にこだわらず志摩市の活性化に資する事業を志摩市でおこそうとする主体や事業を拡大しようとする主体を、創業や事業拡大のための資金調達に関わる多様な主体と共に支援することで、創業や事業拡大を促して地域に仕事を創出する。

予算・決算

単位:千円

H28 予算額	財源内訳			H28 決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・審査を行った件数	-	延べ10件以上	-

KPI算出根拠	本施策による支援制度を活用し、事業申請を行ったもののうち、協力金融機関の審査を受けた件数 (平成28年度) 要綱整備のため、実績なし		
---------	--	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・創業等を実現した件数	-	延べ3件以上	-

KPI算出根拠	本施策による支援制度を活用し、協力金融機関及び市の支援を受け、創業等を実現した件数 (平成28年度) 要綱整備のため、実績なし		
---------	---	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

志摩市を元気にする創業及び事業拡大支援事業の制度構築を行った。

- ・創業等支援にかかる実施計画の作成
- ・市内金融機関との制度構築にかかる調整
- ・創業等支援にかかる基金条例の制定
- ・創業等支援にかかる補助金交付要綱の制定
- ・創業等支援にかかる補助金交付要領の制定
- ・市内金融機関との創業支援等を通じた地方創生の推進に関する協定の締結
(百五銀行、第三銀行、三重銀行)

【支援内容】

創業応援補助金...融資額の2分の1以内とし、100万円を上限とする。(1回/年)

事業拡大支援補助金...融資額の2分の1以内とし、100万円を上限とする。(1回/年)

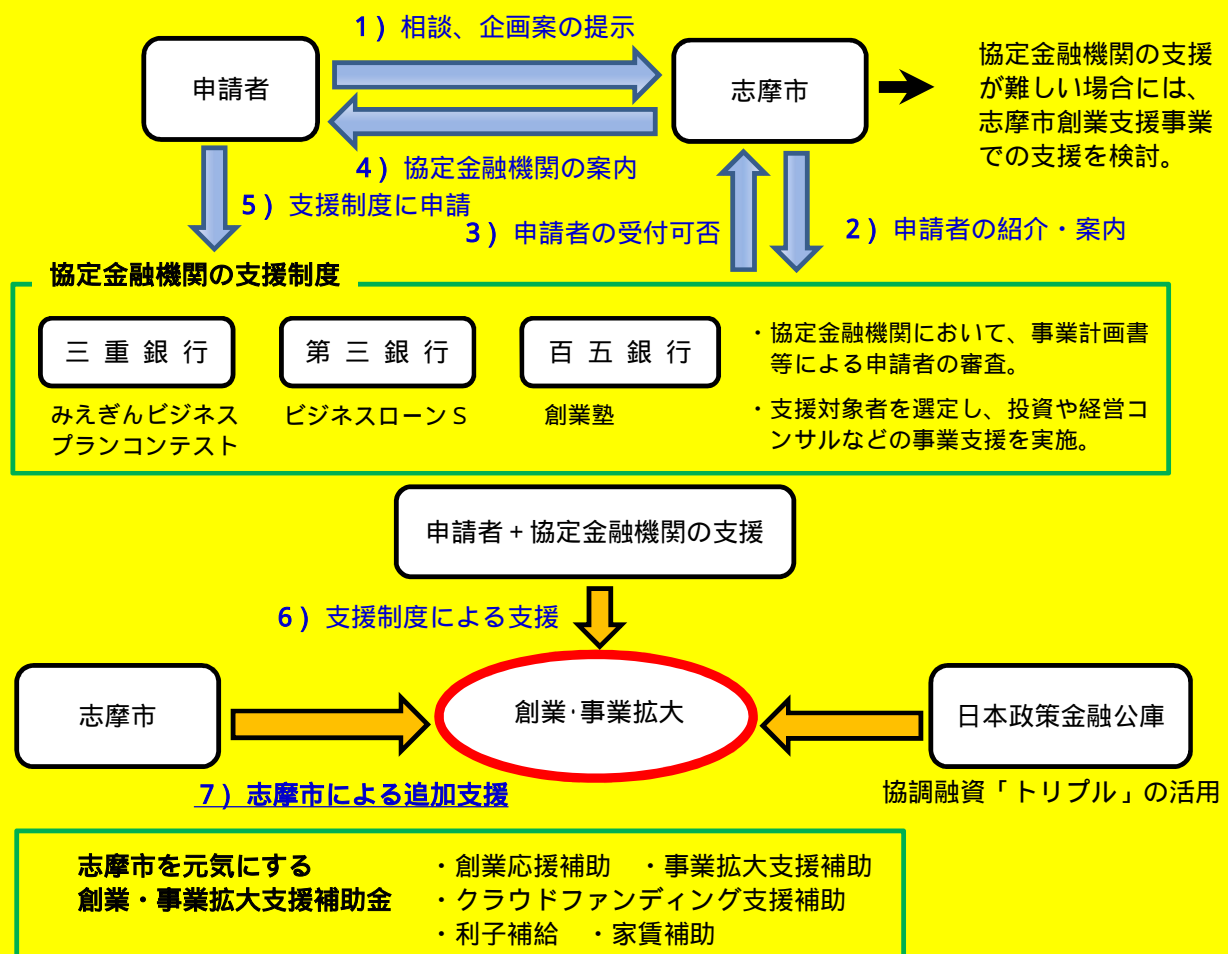
クラウドファンディング支援補助金...募集総額の10%以内とし、100万円を上限とする。(1回/年)

利子補給補助金...当該事業にかかる借入にかかる利子の全額。ただし、年額10万円を上限とする。
最長36月(2回/年)

家賃補助金...事業所として借り受けた施設にかかる家賃の2分の1以内とし、年額50万円を上限とする。
住宅兼事務所棟の場合は、建物の床面積により按分する。最長36月(2回/年)

【制度概要】

志摩市を元気にする創業・事業拡大支援制度の仕組み



政策分野	しごとの創出		担当課	総合政策課
施策No.	5 - 3	事業名	鵜方駅周辺の賑わい復活事業	

目的
市内で最も乗降者数の多い鵜方駅周辺の空き店舗を活用した創業支援を実施して、駅周辺に賑やかさを取り戻すとともに、駅周辺を周遊する市民と観光客の数を増やして、仕事と雇用を創出する。

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・鵜方駅周辺の店舗利用者数	H28に調査	20%以上増加	-
KPI算出根拠	鵜方駅周辺の店舗の協力により年間入込客数の増減を把握 (平成28年度) 未実施		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・鵜方駅周辺に活気を感じる人の割合	12.7%	毎年70%以上	12.0%
KPI算出根拠	鵜方駅周辺でのアンケート調査による (平成28年度) 77人 / 643人(有効回答者) × 100(%) = 12.0(%)		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・鵜方駅周辺で新たに経営を始めた事業者数	H28に調査 (H27分)	延べ2者以上	-
KPI算出根拠	実際に鵜方駅周辺で新たに事業を始めた人の数 (平成28年度) 把握できていない		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

鵜方駅周辺の賑わいを取り戻すため、現状調査を行うとともに、空き店舗を活用した創業を支援するための方策を検討するため、関係者と協議を行った。

- ・鵜方駅周辺の空き店舗の把握(マップ化)
- ・事業主体となる団体(商工会・鵜方駅前振興会)の意向調査
- ・鵜方駅前でのニーズ調査(平成28年8月10日、18日、19日 回答者 245人)
- ・志摩高校、水産高校生徒・教諭への鵜方駅前に関するニーズ調査(平成28年8月30日～ 回答者 508人)
- ・鵜方駅前振興会有志との協議(全3回)

【検討結果】

アンケート結果では、駅での滞在時間が10分程度と回答した人が36%と最も多く、また、59%の人が活気を感じないと回答した。駅にあるとよい店舗・施設についてたずねたところ、カフェが18%と最も多く、次いでファストフード店13%、コンビニエンスストア9%、喫茶店8%、食堂(和食・魚介料理)8%であった。

これらのことより、気軽に立ち寄れるカフェやファストフード店・コンビニエンスストア、また、食事ができる施設にニーズがあるため、空き店舗の活用の参考になると思われた。また、半数以上の人が駅前の活気のなさを感じており、少しでも地元が人が集える場づくりが大切ではないかと思われた。

・鵜方駅前振興会有志との協議では、鵜方ファミリープラザを活性化させたいとの意見が出され、まずは子ども向けの夜店を行い、その結果を踏まえ、今後の展開を検討していくことになった。平成29年夏に夜店が実施できるよう準備を行うこととなった。

政策分野	しごとの創出		担当課	総合政策課
施策No.	5 - 4	事業名	志摩市におけるガイド業の創出事業	

目的

ガイド業という事業に対する関係者の理解を深め、志摩市の多様な自然や文化、地域ごとの街並みや暮らしなどを題材にした有償のツアーを実施する機会を設けて、ガイド業という事業の創出を促す。

予算・決算

単位:千円

H28 予算額	財源内訳			H28 決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
1,000	0	1,000	0	985	0	985	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・ガイド業で収入を得る人の数	-	H31に20人以上	-

KPI算出根拠	ガイド養成講習を受けて、実際にガイド業として収入を得るようになった人数 (平成28年度) 実績なし		
---------	---	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・ガイドツアーを専門に扱う事業者数	-	H31に1者以上	-

KPI算出根拠	ガイド養成講習を受けて、実際にガイド業を実施するようになった事業者数 (平成28年度) 実績なし		
---------	--	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

(有)オズ(海島遊民くらぶ)に業務委託。(契約金額 984,960円) 参加者は19名。

ガイド養成のための講習会等を以下の内容で実施した。(全12回)

ガイド業の基礎講座(4/15)

地域資源とテーマの発見(5/11)

地域資源の発見、ツアープログラムの立案(6/13)

ツアープログラムの立案、企画書作成(7/13)

ツアープログラムの立案、企画書作成(9/6)

ツアープログラムの立案、企画書作成、フィールドワーク、基礎技術講習(10/4)

フィールドワーク、基礎技術講習(11/7)

フィールドワーク、基礎技術講習(12/8)

モニターツアーに向けたフィールドワーク及び講習(1/13)

モニターツアーに向けたフィールドワーク及び講習(1/31)

モニターツアー開催、反省会(2/3)

モニターツアーの振り返り、ツアープログラムの見直し(3/9)



- 講習の様子 -

政策分野	しごとの創出		担当課	総合政策課
施策No.	5 - 5	事業名	高齢者と障がい者とその家族等のための観光サービス創出事業	

目的
健康面に不安を抱いている高齢者や障がい者とその家族等が、安心して観光できるサービスを、異業種間の連携を促すことを通じて、地域に構築する。

予算・決算	単位:千円						
H28 予算額	財源内訳			H28 決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・高齢者や障がい者の観光を支援するサービスの構築	構築されていない	構築されている	構築されていない
KPI算出根拠	高齢者や障がい者の観光を支援するサービスの構築ができているかを把握 (平成28年度) 構築されていない		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・高齢者や障がい者の観光を支援するサービス業に参画する事業者の数	-	H31に50者以上	-
KPI算出根拠	高齢者や障がい者の観光を支援するサービス業に参画する事業者の数 (平成28年度) 実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

- ・平成28年度は、4回検討会議を行った。
- ・会議参加者は、観光協会、社会福祉協議会、福祉タクシー事業者、高齢者や障がい者の受け入れに積極的な観光事業者などが参加。
- ・市の参加者は、観光商工課、地域福祉課及び総合政策課の3課から出席。
- ・開催日及び参加者数(市職員は除く)は、次のとおり。
第1回 7月20日 6人、第2回 9月20日 4人、第3回 11月15日 6人、第4回 1月25日 4人
- ・高齢者や障がい者の観光について、それぞれの立場から現状や意見を出していただいた。
- ・市内事業者のそれぞれの取り組みの中で、高齢者や障がい者とその家族等を対象として受け入れをしている状況があることや、志摩市の豊かな自然を利用して高齢者等を対象に新たな観光サービスやプランを提供できるのでないかという意見が出された。
- ・そこで、モニターツアーを試行することを目標として、検討を進めたが、実施するにあたり、対象者は誰か、移動はどうするのか、費用はどかが負担するか、主体はどこか、など、様々な課題があり、28年度は実施に至らなかった。

政策分野	しごとの創出		担当課	農林課/水産課
施策No.	5 - 6	事業名	6次産業化推進事業	

目的	生産者による生産量の増加、加工業者による商品開発及び販売業者による多様な販路の構築を支援することで、志摩市の農林水産物を活用した6次産業化を推進する。
----	---

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
3,651	0	3,591	60	2,600	0	2,520	80

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	1,600
-------------------------	-------

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・6次産業化に新たに参入した事業者の数	8者	延べ10者以上	10者
KPI算出根拠	6次産業化に新たに参入した事業者数を把握 (平成28年度) 未利用資源である「アカモク」に関し、新規参入した事業者 10者 カネウフーズ(株) (有)伊勢志摩冷凍 志州隼人有限会社責任事業組合 (有)丸義商店 旅館 橋 上野屋 ギョーとら ぎんや 恵みの郷 志摩海道 (有)とり安精肉店		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・6次産業化により利益が増えたと感じる人の割合	70%	H31に80%以上	70%
KPI算出根拠	アンケート調査結果による (平成28年度) 6次産業化に新たに参入した事業者から、アカモクを取り扱ったことにより「利益が増えたと感じるか」について 聞き取り調査を実施。10者のうち7者が「増えたと感じる」との回答。		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

農林課

平成26年度、立命館大学、三重大学との連携による「6次産業化・農水商工連携に係る調査研究会」の中で「きんこ」に焦点を当て、販路や生産拡大をどのように図っていくかの課題解決に向けて、平成28年度はきんこ生産者を確保するために「きんこ塾」を開校した。

きんこ塾は、1年を通してきんこの原料となる隼人芋の栽培から加工までを体験してもらう。平成28年度は、8人が塾生としてきんこ生産に携わり、今後のきんこ生産に取り組んでもらうこととした。



水産課

平成28年8月1日、水産課が立命館大学総合科学技術研究機構へ6次産業化の推進、未利用資源の利用、販路拡大対象の水産物である「アカモク」の認知度を向上させ、特産として推進させるため成分分析を行い栄養面、健康面をクロスアップしたパンフレットの作成を委託した。パンフレットは平成29年3月17日に完成した。

平成28年8月24日に、アカモクの需要が増えてきていることを踏まえ、「漁業者」「加工業者」「三重外湾漁業協同組合」「三重県」と協議し、試験操業地区を4地区から5地区に増し、生産体制についても三重外湾漁業協同組合から加工業者へ円滑な受け渡しが可能となる体制を確立したことにより、前年度と比較しアカモクの漁獲量が増加した。

平成29年2月27日に里海推進室が主催のアカモクについてのイトアカデミー(料理教室)などに水産課とアカモクに携わる漁業関係者とが一緒に参加し、漁業関係者自身に需要が増加傾向であることを肌で感じてもらうと同時に、参加者へアカモクレシピを紹介することで購買意力を高めることができた。



政策分野	まちの形成		担当課	環境課
施策No.	6 - 1	事業名	伊勢志摩国立公園の魅力向上事業	

目的
伊勢志摩国立公園における美化運動、景観形成、自然公園施設の維持管理等を実施し、市民の環境意識の向上を図り、国立公園に暮らすという市民意識を高めるとともに、訪れる人も気持ちよく楽しめる環境のまちづくりを進める。

予算・決算	単位:千円						
H28 予算額	財源内訳			H28 決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
3	0	3	0	3	0	3	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・参加する市民の数	-	年間1,500人以上	40人
KPI算出根拠	国立公園に親しむとともに志摩の風景や環境を守っていく活動に参加した人数 (平成28年度) 40人		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・国立公園のなかで暮らしているということを意識している市民の割合	35.3%	毎年90%以上	34.9%
KPI算出根拠	市民アンケート調査結果による国立公園のなかで暮らしているということを意識している市民の割合 (平成28年度) 206人 / 591人 × 100% = 34.9%		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

志摩をぐるっとテクトトレッキング 実績

開催日:平成28年11月6日(日)

目的:伊勢志摩国立公園指定70周年に合わせて、国立公園に親しむとともに志摩の風景や環境を守っていく活動と「新しい里海のまち・志摩」の魅力を再発見する機会とする。

志摩町御座(金毘羅山コース)

・コース内容

70周年記念事業のエクスカージョンのコースとして設定されていることから事前のクリーンアップを兼ねてコースを巡る。近畿自然歩道を体験していただくことを主として、爪切不動尊、潮仏、金毘羅山展望台といったスポットを巡った。

・参加者 10人

・ごみ回収量 50Kg

磯部町恵利原(逢坂峠コース)

・コース内容

平成18年度に開催された第48回自然公園大会でウォーキングコースの一つとして実施されたコースの再整備を目的に歩いた。恵利原の水穴の上部に広がる神秘的な猿田彦の森や志摩路トンネル真上の逢坂峠、旧磯部街道について、途中、支障木の撤去や草ひきなどの整備を行った。また、電気自動車の有効活用として、電源を利用して天の岩戸の水を沸かし名水コーヒーの振る舞いを行った。

・参加者 30人

・ごみ回収量 10Kg



政策分野	まちの形成		担当課	総合政策課/観光商工課
施策No.	6 - 2	事業名	賢島の魅力発信力向上事業	

目的	賢島に関わる事業者の連携と創意工夫を促し、観光客のニーズと地域の特性を踏まえながら志摩の魅力を発信する拠点としての賢島の役割の強化を図る。
----	---

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・賢島に関わる事業者の連携と創意工夫で取り組まれた事業数	-	延べ5件以上	1件
KPI算出根拠	賢島に関わる事業者の連携と創意工夫で取り組まれた事業数 (平成28年度) 1件		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・賢島を訪れる観光客のうち志摩市の魅力を感じてもらえた方の割合	65.9%	毎年80%以上	65.9%
KPI算出根拠	アンケート調査による把握 (平成28年度) 65.9% 平成28年9月16日(金)から22日(木)の7日間、賢島の宿泊施設及び飲食店に協力を依頼し、施設を訪れたお客様にアンケートの配付をしていただいた。また、9月16日(金)、賢島駅前南側において、観光客を対象としてアンケートを実施した。		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

- ・8月から10月にかけて、3回ワークショップを実施した。
- ・ワークショップの参加者は、賢島地元関係、近鉄グループホールディングス及び市内の銀行(第三銀行、三重銀行、百五銀行)から参加してもらった。
- ・実施日及び参加人数は次のとおりであった。
第1回 8月30日 参加者 8人、第2回 9月27日 参加者 5人、第3回 10月19日 参加者 6人
- ・しかし、参加者数が少なかったことや、このワークショップの方向性を再度検討する必要性を感じ、第3回のワークショップで協議の結果、休止することとなった。
- ・ワークショップに代わり、賢島の地域団体である賢島塾の会議に市職員が参加させてもらい、今後の取り組みのアイデアを話すことになった。
- ・賢島塾との協議の結果、9月に回収したアンケート結果から「賢島を訪れた際、サミットを感じない。」との意見を受けて、各店舗に立寄りやすくし、まわってもらうことをねらい、サミットの写真を各店舗に掲示することとなった。
- ・写真は、外務省ホームページのサミットフォトや伊勢志摩サミット市民会議の活動記録写真などを印刷し、市から賢島塾メンバーに提供した。
- ・賢島塾メンバーから賢島の各商店に写真を配付していただいた。



- ワークショップの様子 -

政策分野	まちの形成		担当課	総合政策課
施策No.	6 - 3	事業名	地域の特色を生かしたスポーツのまちづくり事業	

目的
市内各地域において、各地域の特徴を生かせるスポーツの振興を通じて、市民と観光客の双方がスポーツを楽しめるまちづくりを推進する。

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国庫補助金	一般財源 (含起債)	その他		国庫補助金	一般財源 (含起債)	その他
33,700	28,000	5,700	0	32,704	28,000	4,704	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	4,000
-------------------------	-------

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・地域の特色を生かしたスポーツ振興に取り組む地域の数	-	延べ20地域以上	3地域
KPI算出根拠	スポーツ観光推進事業補助金を活用して、各地域の特徴を生かしたスポーツ振興に取り組む地域の数 (平成28年度) 3地域		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

(1)サイクリング事業

志摩サイクリング推進事業協議会の設立

- ・地方創生加速化交付金を活用
- ・目的 伊勢志摩国立公園の良好な自然景観を生かしたサイクリングツーリズムの確立
自転車を活用した市民も観光客も利用できる二次交通システムの構築
電動アシスト自転車等の次世代交通手段の普及による環境にやさしい国立公園のまちづくりの推進
サイクリングツーリズムによる地域経済の活性化及び地域における雇用の創出
- ・会員 志摩市、(一社)志摩スポーツコミッション、近畿日本ツーリスト(株)、三井住友トラストクラブ(株)
(株)ドコモ・バイクシェア、近鉄グループホールディングス(株)、三重交通グループ
(株)百五銀行、(株)第三銀行、沖電気工業(株)、(一社)ウィズスポ(事務局アドバイザー) (順不同)
- ・協議会
設立総会 平成28年6月7日(火) 志摩市役所 602会議室
第2回 平成28年9月12日(月) 志摩市役所 602会議室
第3回 平成28年12月16日(金) 志摩市商工会館 カルチャー教室
第4回 平成29年3月30日(木) 志摩市役所 405会議室
- ・実施事業
マーケティング調査(マーケット分析調査・地域基礎調査)の実施
サイクリングモデルツアー(モニターツアー)の実施
サイクルシェア試験運用(レンタサイクル事業)
サイクルシェアシステム運用(GPS調査におけるシステム利用) 他

(2)スポーツ観光推進事業補助金の交付

- 第5回志摩里海マリンフェスタ(シーカヤック)(9月11日 次郎六郎海水浴場)
600,000円
- WSL伊勢志摩プロジュニア及びプロタクトネイチャー事業(サーフィン)(10月1日、2日 国府白浜)
2,904,000円
- 志摩SUPフェスティバル(スタンドアップパドルボード)(11月19日、20日 市後浜・国府白浜)
500,000円

政策分野	まちの形成		担当課	総合政策課
施策No.	6 - 4	事業名	地域の魅力を見つけて生かす観光まちづくり事業	

目的
自然景観、歴史文化、街並み、日々の暮らし、人のつながり、地元ならではの食、古くからの生業など日常的な物事や当たり前のことを地域の観光資源として生かせる地域づくりを推進する。

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
0	0	0	0	0	0	0	

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・観光まちづくりに取り組む地域の数	-	延べ4地域以上	1件
KPI算出根拠	地域の魅力を見つけ、それを生かした観光まちづくりに取り組む地域の数 (平成28年度) 1件(和具地区)		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・参画する主体のうち、観光客や観光客とふれあう機会の増加を実感している人の割合	-	H31に80%以上	-
KPI算出根拠	観光まちづくりに参画するメンバーに対して、「観光客とふれあう機会の増加を実感したか」どうかをアンケート調査を実施し測定 (平成28年度) 実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

- ・志摩町和具地区を対象とし、観光まちづくり検討会を7回行った。
- ・和具地区は志摩半島の先端部に近いことから、和具地区が活性化することで志摩市を周遊する観光客が増えることが考えられること、和具地区の美珠通りの活性化を考えている有志がいたことから、今回の対象とした。
- ・参加者は、和具地区住民有志。
- ・開催日及び参加人数は、次のとおり。
6月8日 参加者 9人、 7月13日 参加者 8名、 8月10日 参加者 5人、 9月14日 参加者 6人
10月19日 参加者 8人、 11月16日 参加者 7人、 1月26日 参加者 3人
- ・検討会では、和具地区にある地域資源を生かしてどのようなことができるか、などを話し合った。
- ・その結果、和具地区とゆかりが深いカツオをテーマとして、その一つの取り組みとして、カツオで餃子を作り、和具地区の飲食店で提供することを目指すこととした。



- 検討会の様子 -

政策分野	まちの形成		担当課	地域福祉課
施策No.	6 - 5	事業名	生活拠点づくり事業	

目的
<p>少子化と高齢化が進行する市内各地区において、住民と共に地区の現状やニーズを把握し、地区の課題を住民が主体となって解決できる仕組みを検討し、その実施の具体化を支援する。</p>

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
3,993	0	3,993	0	3,993	0	3,993	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	3,900
-------------------------	-------

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・住民が主体となって地区の課題解決に取り組む地区の数	2地区	延べ4地区以上	2地区
KPI算出根拠	<p>事業については実態把握調査を行い地域課題を抽出、地域住民とともに考え活用できる資源をコーディネートしていくため1か所で複数年を要する。また同時に多数の箇所でも事業をすることも困難であることから1地区を2年から3年かけ年間2か所として5年間の目標値を設定した。 [平成28年度] 2地区</p>		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

間崎・的矢地区に拠点を置き、地域課題を検証しコーディネートする人材を地域に配置した。地域拠点のあり方を検証、推進するとともに地域の身近な課題の解決のため地域住民とともに考え、地域住民のつながりを促進し、地域の力を高める事を図った。

○間崎拠点

志摩市の中でも特に高齢化が進み、離島であるため交通が不便な地域である。平成27年度より実態把握調査を行い、買物の問題が地域のニーズであることを確認。買物支援の取り組みとしてミニショップの運営による集いの場を展開。また、社会福祉協議会のバスを利用し、買物ツアーを実施した。支援員は買物等に来れない方を対象に家を訪問し島民の状況確認や相談活動を行った。地元協力員を募集し地元で信頼のおける協力員の駐在を開始した。障がい者就労支援事業の「えりはらパン」、「ふくしの魚屋さん」の鮮魚販売も試行的に実施している。間崎地区での事業は平成29年度も引き続き実施していく。



○的矢拠点

的矢地区は今後、少子高齢化による地域の衰退が懸念される地域である。平成27年度から訪問による実態把握調査を実施。高齢化による移動困難の問題から、文化に触れる機会が少なくなっているという声が多くあり、ボランティアのコーラスグループによるミニコンサートを実施した。

また、集いのきっかけづくりと認知症予防を兼ねて2週間に1度、頭の体操教室を実施した。今回事業を行ったが地域ではお互いが連携し支え合う姿も見られ、地域力が日々の生活を支えている実態も窺えた。地域生活拠点づくりについては地域の実情に応じた拠り所があり住民主体での拠点の形づくりが大切であることが確認できた。今回、拠点の定着には繋がらず事業自体は終了となるが、地域では水福連携による障がい者就労支援事業も進んでおり地域の理解も得られつつある。今後は社会福祉協議会の地域支援コーディネーターが地区を訪問し地域に見合ったコーディネートを展開していくことになる。



平成29年度より和具地区において事業を実施。拠点を運営しながら生活実態とニーズの把握、地域課題の抽出を行う。

政策分野	まちの形成		担当課	総合政策課
施策No.	6 - 6	事業名	これからの志摩市の地域交通検討事業	

目的

人口減少、高齢化率の上昇、外国人観光客等の増加など今後想定される志摩市の社会状況下において、市内各地域と駅、病院、学校、商業施設、観光スポットなどの拠点を結ぶ有効な地域交通のあり方を描く。

予算・決算

単位:千円

H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
126	0	126	0	67	0	67	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	0
-------------------------	---

KPI

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・将来に向けた有効な地域交通のあり方として提案する件数	-	延べ3件以上	-

KPI算出根拠	地域公共交通会議を開催し、有効な地域交通のあり方として提案された件数 (平成28年度) 実績なし		
---------	--	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値

KPI算出根拠			
---------	--	--	--

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

志摩市地域公共交通会議の開催

・離島航路幹事会...平成28年6月29日に、志摩市地域公共交通会議委員(離島航路幹事会)8名が、志摩市役所の会議室で、離島航路確保維持計画について議論し、運行回数の維持、間崎島の人口が減少していくなかで、離島航路を維持するためには、観光客の増加を図ることが必要であるという意見をいただいた。

・陸上交通幹事会...平成28年12月20日に、志摩市地域公共交通会議委員(陸上交通幹事会)15名が、志摩市役所の会議室で、「磯部町地域予約運行型バスの運行、志島循環バスの運行、志摩市生活交通計画の改定、運転免許自主返納サポート制度」について議論し、なかでも「志摩市生活交通計画」は時点修正のため、大きな見直しはなく、意見があれば受付けて反映については、総合政策課で判断することとした。

○庁内関係部署との地域交通に関する課題点の協議・情報共有

・庁内関係部署と地域交通に関する課題点の協議・情報共有を行った。

観光商工課(二次交通等)

地域福祉課(高齢者・障がい者(児)にかかる交通施策)

学校教育課(スクールバス関係)

総合政策課(バス廃止代替路線、交通空白地域、英虞湾海上ルート)

政策分野	まちの形成		担当課	保険年金課
施策No.	6 - 7	事業名	子どもの医療費がかからないまちづくり事業	

目的	0歳児から中学生までの入院及び通院にかかる医療費を無償化することで、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図り、子育てしやすい環境を整備する。
----	--

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国庫補助金	一般財源 (含起債)	その他		国庫補助金	一般財源 (含起債)	その他
20,700	0	20,700	0	18,381	0	18,381	0

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	16,600
-------------------------	--------

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・制度を利用している中学生の割合	92.0%	毎年90%以上	91.9%
KPI算出根拠	アンケート調査を実施し、制度を利用している中学生の割合を把握 (平成28年度) 平成29年2月に中学校2年生のいる世帯を対象にアンケート調査を実施して算出 平成28年4月からアンケート調査実施時までの間に、医療機関を受診した...149件 149件のうち、制度を利用して医療費助成を受けた...137件 $137/149 \times 100(\%)$ 91.9%		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・制度利用世帯に占める経済負担が軽減したと感じた割合	-	毎年100%	75.2%
KPI算出根拠	アンケート調査を実施し、制度利用世帯のうち、経済負担が軽減したと感じた割合を把握 (平成28年度) 平成29年2月に、中学校2年生のいる世帯を対象にアンケート調査を実施して算出 制度を利用して医療費助成を受けた137件のうち、世帯の経済的な負担が軽減したと感じた...103件 $103/137 \times 100(\%)$ 75.2%		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

県基準の小学6年生までの医療費助成に加えて、市単独で中学3年生までを対象として、医療費助成を行った。

中学生の医療費

平成28年度末受給対象者数 1,028人

自己負担助成額 16,703,140円、証明書料 1,677,400円、支払額 18,380,540円

政策分野	まちの形成		担当課	総合政策課
施策No.	6 - 8	事業名	市民や民間事業者による地域をおこすまちづくり支援事業	

目的	地域の特性を生かした地域振興に資する市民や民間事業者が主体となったまちづくり事業を促進することを目的とする。
----	--

予算・決算	単位:千円						
H28予算額	財源内訳			H28決算額	財源内訳		
	国県補助金	一般財源 (含起債)	その他		国県補助金	一般財源 (含起債)	その他
10,000	0	5,000	5,000	10,000	0	5,000	5,000

一般財源のうち、ふるさと 応援基金充当額	5,000
-------------------------	-------

KPI			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・支援申請をした事業者等の数	-	延べ6件以上	-
KPI算出根拠	志摩市まちづくりクラウドファンディング活用支援補助金交付要綱に基づき、支援申請を行った事業者等の数 (平成28年度) 要綱整備のため、実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
・事業に着手した補助対象事業の数	-	延べ2件以上	-
KPI算出根拠	志摩市まちづくりクラウドファンディング活用支援補助金交付要綱に基づき支援を行い、実際に事業に着手した補助対象事業数 (平成28年度) 要綱整備のため、実績なし		
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			
KPI(重要業績評価指標)	現状値(H27)	目標値	H28実績値
KPI算出根拠			

実績内容

(具体的に説明すること、また、事業の様子が確認できる写真を必ず貼付してください。)

【実施状況】

事業を始めるにあたって設置予定の基金10,000千円の原資として、10月に(一財)民間都市開発推進機構(以下、MINTO機構)の住民参加型まちづくりファンド支援業務に5,000千円の資金拠出申請を行った。翌月には資金拠出を行うまちづくりファンドとして選定されたため、翌年1月に交付申請を行い、3月に交付決定を受けた。
同月、志摩市まちづくりクラウドファンディング活用支援基金条例と志摩市まちづくりクラウドファンディング活用支援補助金交付要綱を制定。基金の設置に合わせ、拠出金を受け入れるための契約をMINTO機構と締結し、5,000千円を受領した。
MINTO機構からの5,000千円と一般財源からの5,000千円(ふるさと応援基金充当)を合わせて、基金に積み立てた。

【制度概要】

